marantz®

CD Receiver

M-CR611

取扱説明書

- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」·「保証書」とともに大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。詳しくは「保障と修理について」(☞123 ページ)をご覧ください。

使用上のご注意 6
携帯電話使用時のご注意 6
お手入れについて 6
結露(つゆつき)について 6
換気についてのご注意 6
移動させるときのご注意 6
付属品 7
乾電池の入れかた 8
リモコンの使いかた 8
特長 9
多彩な音楽フォーマットに対応したオールインワンオーディオシステム 9
簡単操作 10
各部の名前 11
フロント/トップパネル 11
リアパネル 14
リモコン 16

接続のしかた

スピーカーを接続する 20
スピーカーケーブルを接続する 20
サブウーハーを接続する 21
スピーカー A を接続する(標準的な接続) 21
スピーカー B を接続する 22
バイアンプ接続をする 23
デジタル機器を接続する 24
アナログ機器を接続する 25
アンプを接続する 26
USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する 27
FM/AM アンテナを接続する 29
ホームネットワーク(LAN)に接続する 31
有線 LAN 31
無線 LAN 32
電源コードの接続 34

再生のしかた

基本操作 36
- 電源を入れる 36
- 入力ソースを選ぶ 36
- 音量を調節する 37
- 一時的に音を消す(ミューティング) 37

CD の再生 38
- CD の再生 38
- 好きな順に再生する(プログラム再生) 39

データ CD の再生 40
- ファイルを再生する 41

インターネットラジオを聴く 42
- インターネットラジオを聴く 43
- 前回再生していたインターネットラジオ局を再生する 44
- vTuner でインターネットラジオ局をお気に入り登録する 45

パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する 46
- メディアの共有設定をおこなう 47
- パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する 48

FM/AM 放送を聴く 50
- FM/AM 放送を聴く 50
- 受信モードを変更する(チューニングモード) 51
- FM 放送局を自動的にプリセットする(オートプリセット) 51

お気に入り機能 52
- 放送局またはファイルをお気に入りリストに登録する 53
- お気に入りリストに登録した放送局またはファイルを呼び出す 53
- お気に入りリストに登録した放送局やファイルを再生中、登録した放送局またはファイルを切り替える 53
- お気に入りリストから放送局またはファイルを削除する 53

iPod を再生する 54
- iPod の音楽を聴く 55
- オペレーションモードの設定(“On-Display”モード) 56
- iPod/iPhone の充電 57

USB メモリーの再生 58
- USB メモリーに保存されているファイルを再生する 59

Bluetooth 機器の音楽を聴く 60
Bluetooth 機器とペアリングする 61
ペアリングモードでペアリングする 63
Bluetooth 機器から本機に再接続する 64
NFC を使用してペアリングする 65
デジタル入力で聴く 66
アナログ入力で聴く 66
AirPlay 機能 67
iPhone、iPod touch、iPad の曲を本機で再生する 68
iTunes の曲を本機で再生する 68
複数のスピーカー(機器)を選ぶ 69
Remote play 機能 70
それぞれの機器に必要な設定 71
ウェブコントロール機能 73
ウェブコントロール機能で本機をコントロールする 73
便利な機能 79
音質を調節する 80
スリープタイマーを設定する 81
現在の時刻を確認する 81
ディスプレイの明るさを切り替える 82
マルチドライブ接続をして 2 つの部屋で音楽を聴く 83

設定のしかた

メニュー一覧 85
メニューの操作のしかた 88
文字入力 89
数字ボタンで入力する 89
カーソルボタンで入力する 90
一般 91
アラーム 91
時計 92
時計モード 92
音量制限 93
CD の自動再生 93
スピーカー設定 93
イルミネーション色 94
オーディオ出力 95
言語 95
オートスタンバイ 95
使用状況の送信設定 96
ファームウェア 96
リセット 98

ネットワーク 99
ネットワーク情報 99
ネットワーク制御 99
フレンドリ名 100
Wi-Fi 100
Bluetooth 100
接続の設定 101

困ったときは

上手な使いかた/こんなときの解決方法 108
故障かな？と思ったら 110
保証と修理について 123

付録

データ CD を再生する 125
USB メモリーを再生する 126
インターネットラジオ局の再生について 128
Bluetooth 機器の再生について 128
Bluetooth 通信について 128
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する 129
ディスクについて 131
ラストファンクションメモリー 133
用語の解説 134
登録商標について 139
主な仕様 140
索引 146

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1〜2 時間放置してから使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

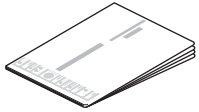
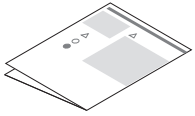
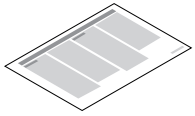
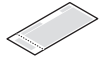
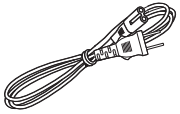
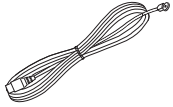
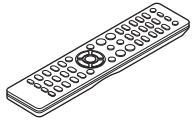
ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

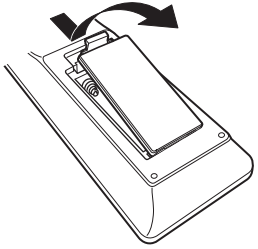
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

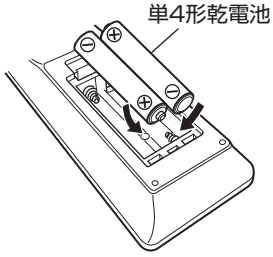
かんたん設定ガイド	 取扱説明書（本書）	 安全にお使いいただくために	 電波に関するご注意	 保証書
 電源コード【本機専用】	 FM室内アンテナ	AMループアンテナ	 リモコン（RC013CR）	単4形乾電池（2本）

乾電池の入れかた

① 裏ぶたを矢印の方向に引き上げる。



② 乾電池(2 本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



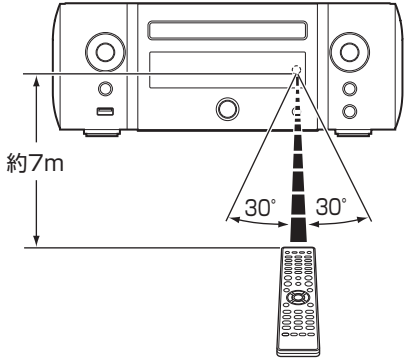
③ 裏ぶたを元のとおりにする。

ご注意

- 破損･液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



特長

多彩な音楽フォーマットに対応したオールインワンオーディオシステム

- **インターネットラジオなどのネットワーク機能に加え、AirPlay®機能を搭載(☞67 ページ)**
  インターネットラジオを聴いたり、パソコンに保存している音楽ファイルを再生したり、さまざまな再生をお楽しみいただけます。
  また、本機は AirPlay 機能も搭載していますので、ネットワークを通して iPhone®や iPad®、iPod touch®、iTunes®の音楽を本機で再生できます。
- **DLNA(Digital Living Network Alliance)(デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス) ver.1.5 に準拠したネットワーク機能搭載**
- **高音質なオーディオ再生に対応**
  WAV/FLAC/ALAC(Apple Lossless Audio Codec)/AIFF/DSD(2.8MHz)
- **Gapless 再生に対応**
  音楽ファイル間を途切れることなく再生(WAV/FLAC/ALAC/AIFF/DSD(2.8MHz)のみ)
- **Wi-Fi 接続でオーディオファイルを再生したときの通信安定性を向上させる WMM(Wi-Fi Multi Media)をサポート**
- **高音質・高出力デジタルアンプの搭載とバイアンプ方式の採用**
- **2組のスピーカーを接続可能**
  それぞれのスピーカーの音量調節ができます。
- **ワイド FM(FM 補完放送)に対応**
  FM ラジオは 95.0MHz まで対応し、FM 補完中継局の放送も受信できます。AM ラジオの番組を FM ラジオの周波数で聴けるので、AM ラジオの電波が入りにくい場所でもクリアな音質で AM ラジオ番組を楽しめます。
  * FM 補完放送にかかわる放送局、使用周波数、受信エリアなどは地域によって異なります。詳しくは、各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

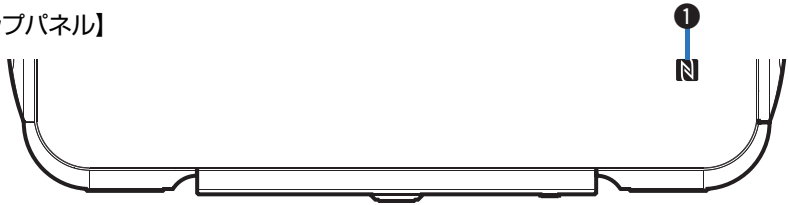
簡単操作

- **簡単に Wi-Fi 接続を実現する、Wi-Fi 接続ボタンを搭載（WPS/Wi-Fi 共有機能）**
  別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。
- **Bluetooth 機器と簡単にワイヤレス接続が可能**
  お手持ちのスマートフォン、タブレット、パソコンなどとワイヤレス接続することで、簡単に音楽を楽しめます。
- **NFC 機能搭載の Bluetooth 機器を本機の N マークにワンタッチするだけで、簡単に接続が可能**
- **iPod を接続することで自動的に充電開始、充電完了後、本体の状態に合わせて消費電力を最適化するスマート充電コントロール**
- **“Marantz Hi-Fi Remote”は、iPad、iPhone、Android スマートフォンや Android タブレットで本機の電源のオン/ オフや音量調節、入力ソースの切り替えなどの基本操作がおこなえるアプリケーションソフトです。**
  * “Marantz Hi-Fi Remote”を Apple App ストアや Google Play ストアから iOS や Android 機器にダウンロードしてください（無料）。本機を LAN 接続し、同じネットワーク上に Wi-Fi（無線 LAN）にて iPad、iPhone、Android スマートフォンや Android タブレットなどを接続する必要があります。
- **3行表示可能な有機 EL ディスプレイ搭載**
- **電力消費をおさえるオートスタンバイ機能搭載**

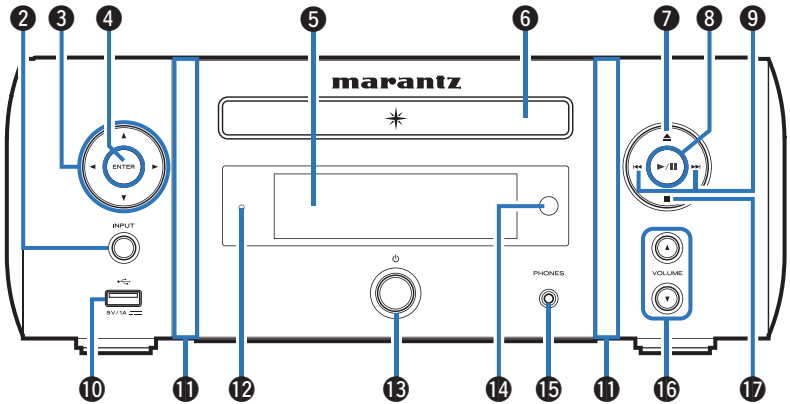
各部の名前

フロント/トップパネル

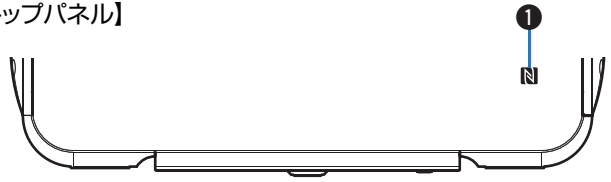
【トップパネル】



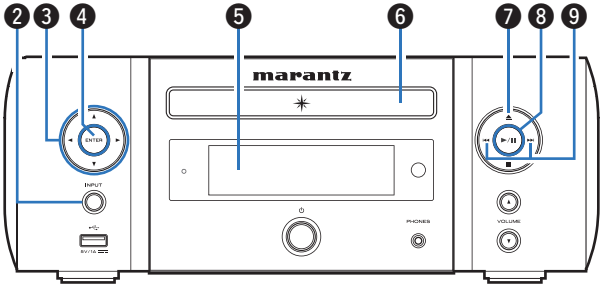
【フロントパネル】



【トップパネル】



【フロントパネル】



❶ **N マーク(N)**
NFC 機能を搭載した Bluetooth 機器とペアリング(登録)するときに、このマークに Bluetooth 機器をタッチします。
(☞65 ページ)

❷ **入力ソース選択ボタン(INPUT)**
入力ソースを選択します。(☞36 ページ)

❸ **カーソルボタン(△▽◁▷)**
項目を選択します。

❹ **エンターボタン(ENTER)**
選択した内容を確定します。

❺ **ディスプレイ**
再生状態や設定値などを表示します。

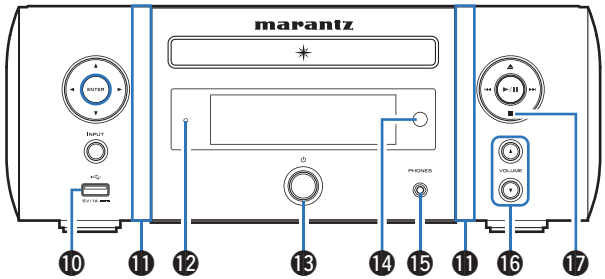
❻ **ディスクトレイ**
ディスクをセットします。(☞131 ページ)

❼ **ディスクトレイ開閉ボタン(⏏)**
ディスクトレイを開閉します。

❽ **プレイ/ポーズボタン(▶/❚❚)**

❾ **スキップボタン(⏮、⏭)**

【フロントパネル】



⓾ USB 端子(⇜、フロント)
iPod または USB メモリーを接続します。(☞27 ページ)

⓫ フロントパネルイルミネーション
電源をオンにすると点灯します。メニューの“イルミネーション色”でイルミネーションの色を変更/消灯できます。(☞94 ページ)

⓬ スタンバイ表示
本機の状態により次のように変わります。
- 電源オン時:消灯
- 通常のスタンバイ時:消灯
- iPod の充電スタンバイ時:赤色(☞57 ページ)
- ディスプレイの明るさが消灯のとき:緑色(☞82 ページ)
- アラームスタンバイ時:オレンジ色(☞91 ページ)
- “ネットワーク制御”の設定が“オン”のとき:赤色(☞99 ページ)

⓭ 電源ボタン(⏻)
本機の電源をオン/オフ(スタンバイ)に切り替えます。(☞36 ページ)

- “時計モード”がオンの場合、このボタンで通常モードと時計モードを切り替えます。(☞92 ページ)

⓮ リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。(☞8 ページ)

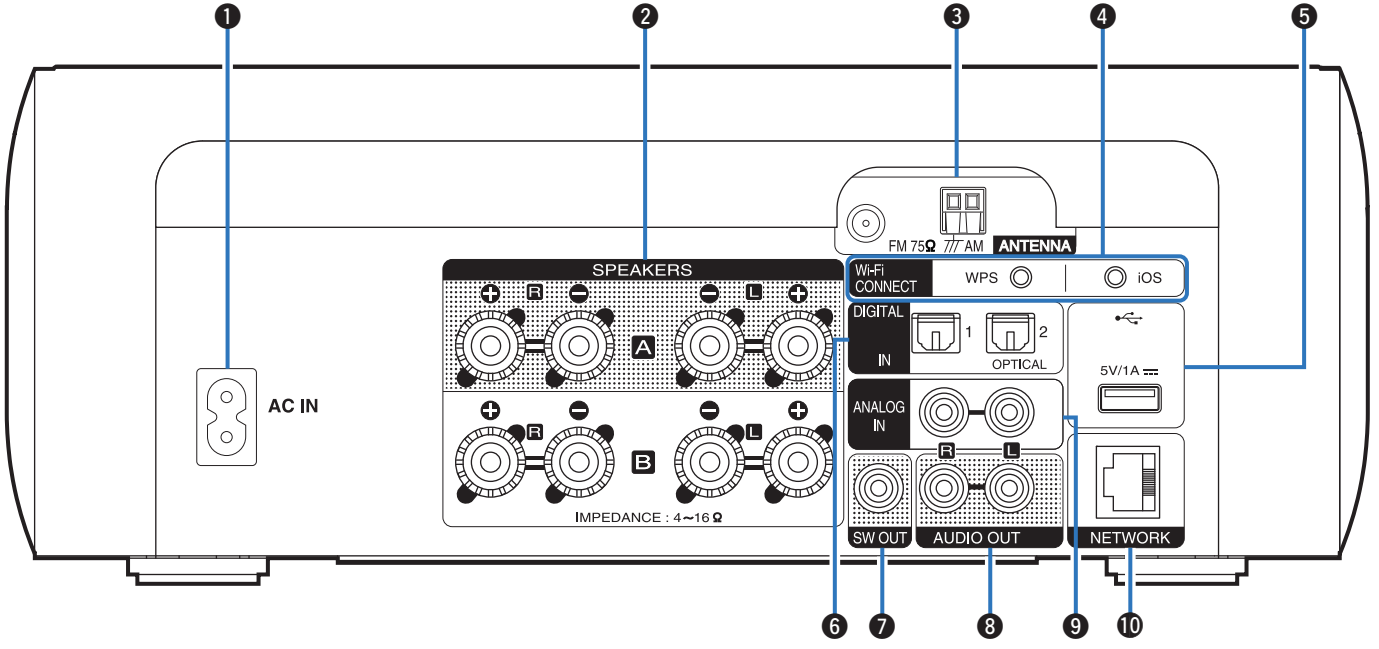
⓯ ヘッドホン端子(PHONES)
ヘッドホンを接続します。
ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカー端子、サブウーハー端子およびオーディオ出力端子から音が出なくなります。

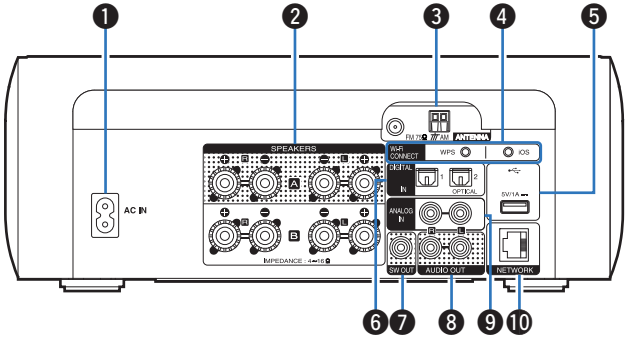
ご注意
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

⓰ 音量調節ボタン(VOLUME ▲▼)
音量を調節します。(☞37 ページ)

⓱ ストップボタン(■)

リアパネル


❶
❷
❸
❹
❺
AC IN
SPEAKERS
R
L
A
B
IMPEDANCE : 4～16Ω
FM 75Ω
AM
ANTENNA
Wi-Fi CONNECT
WPS
iOS
DIGITAL IN
1
2
OPTICAL
5V/1A
ANALOG IN
R
L
SW OUT
AUDIO OUT
NETWORK
❻
❼
❽
❾
❿



❶ **AC インレット(AC IN)**
付属の電源コードを接続します。(☞34 ページ)

❷ **スピーカー端子(SPEAKERS)**
スピーカーを接続します。(「スピーカーを接続する」(☞20 ページ)、「バイアンプ接続をする」(☞23 ページ))

❸ **アンテナ端子(ANTENNA)**
FM アンテナまたは AM ループアンテナを接続します。
(☞29 ページ)

❹ **Wi-Fi CONNECT ボタン(iOS/WPS)**
無線 LAN 接続に使用します。
(別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。)

❺ **USB 端子(⇜、リア)**
iPod または USB メモリーを接続します。(☞27 ページ)

❻ **デジタル入力端子(DIGITAL IN)**
デジタルオーディオ端子付きの機器を接続します。(☞24 ページ)

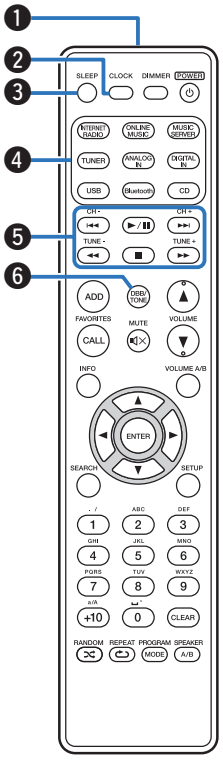
❼ **サブウーハー端子(SW OUT)**
アンプ内蔵のサブウーハーを接続します。(☞21 ページ)

❽ **オーディオ出力端子(AUDIO OUT)**
アナログオーディオ端子付きの機器や外部のプリメインアンプを接続します。(☞26 ページ)

❾ **アナログ入力端子(ANALOG IN)**
アナログオーディオ端子付きの機器を接続します。(☞25 ページ)

❿ **ネットワーク端子(NETWORK)**
本機をネットワークに接続します。(☞31 ページ)

リモコン



❶ **リモコン信号送信窓**
リモコンの信号を送信します。(☞8 ページ)

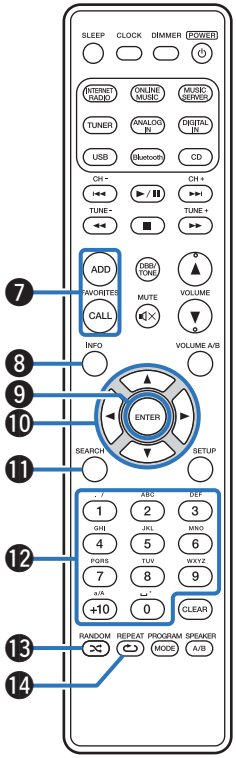
❷ **クロックボタン(CLOCK)**
現在時刻を表示します。(☞81 ページ)

❸ **スリープボタン(SLEEP)**
スリープタイマーを設定します。(☞81 ページ)

❹ **入力ソース選択ボタン**
入力ソースを選択します。(☞36 ページ)

❺ **システムボタン**
再生に関する操作をします。
チャンネルボタン(CH +,-)
お気に入り機能を操作します。(☞52 ページ)
選局ボタン(TUNE +,-)
チューナーを操作します。(☞50 ページ)

❻ **DBB/トーンボタン(DBB/TONE)**
音質を調節します。(☞80 ページ)



❼ **お気に入り登録/ 呼び出しボタン(FAVORITES ADD / CALL)**

- お気に入りリストに放送局やファイルを追加するときに ADD ボタンを押してください。(☞53 ページ)
- お気に入りリストに登録された放送局やファイルを呼び出すときに CALL ボタンを押してください。(☞53 ページ)

❽ **インフォメーションボタン(INFO)**
アーティスト名やアルバム名などを表示します。

❾ **エンターボタン(ENTER)**
選択した内容を確定します。

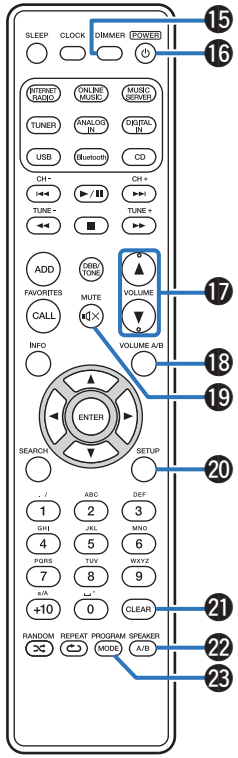
❿ **カーソルボタン(△▽◁▷)**
項目を選択します。

⓫ **サーチボタン(SEARCH)**
サーチメニューを表示します。

⓬ **数字ボタン(0 ～ 9、+10)**
文字や数字の入力をします。

⓭ **ランダムボタン(RANDOM ⤮)**
ランダム再生を選択します。

⓮ **リピートボタン(REPEAT ⟲)**
リピート再生を選択します。



⓯ ディマーボタン(DIMMER)
本機のディスプレイの明るさを調節します。(☞82 ページ)

⓰ 電源ボタン(POWER ⏻)
本機の電源をオン/ オフ(スタンバイ)に切り替えます。(☞36 ページ)

⓱ 音量調節ボタン(VOLUME ▲▼)
音量を調節します。(☞37 ページ)

⓲ 音量 A/B ボタン(VOLUME A/B)
2 組のスピーカー(スピーカー A/スピーカー B)を接続している場合、音量を調節したいスピーカーを選びます。(☞84 ページ)

- 音声出力するスピーカーの設定を“スピーカー A と B とが有効になりました”にしている場合のみ有効です。(☞84 ページ)

⓳ ミュートボタン(🔇)
消音します。(☞37 ページ)

⓴ セットアップボタン(SETUP)
ディスプレイに設定メニューを表示します。(☞88 ページ)

㉑ クリアボタン(CLEAR)
設定を取り消します。

㉒ スピーカー A/B ボタン(SPEAKER A/B)
音声出力するスピーカーを切り替えます。(☞84 ページ)

㉓ プログラム(PROGRAM)/ モード(MODE)ボタン
- 動作モードを切り替えます。(「受信モードを変更する(チューニングモード)」(☞51 ページ)、「オペレーションモードの設定(“On-Display”モード)」(☞56 ページ))
- プログラム再生をします。(☞39 ページ)

接続のしかた

■ 目次

スピーカーを接続する	20
デジタル機器を接続する	24
アナログ機器を接続する	25
アンプを接続する	26
USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する	27
FM/AM アンテナを接続する	29
ホームネットワーク(LAN)に接続する	31
電源コードの接続	34

ご注意

- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルをご用意ください。

スピーカーケーブル	
サブウーハーケーブル	
光伝送ケーブル	
オーディオケーブル	
LAN ケーブル	

スピーカーを接続する

部屋に設置したスピーカーを本機に接続します。
ここでは例として、代表的な接続方法を説明します。

ご注意

- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、サブウーハーの電源を切ってください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、＋側と－側が接触したりすると、保護回路が動作します。「保護回路」(☞138 ページ)
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- スピーカーは、インピーダンスが 4～16Ω のものを使用してください。

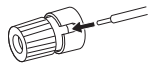
スピーカーケーブルを接続する

スピーカーケーブルをスピーカー端子の＋(赤)と－(黒)に接続してください。

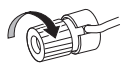
1 **スピーカーケーブル先端の被覆を 10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじる。**

2 **スピーカー端子を左に回してゆるめる。**

3 **スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の穴に差し込む。**

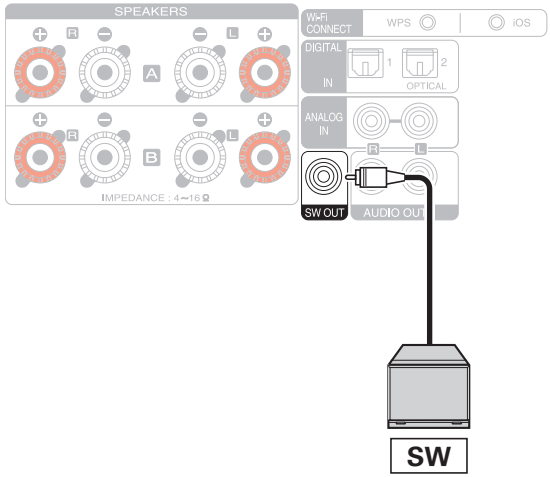


4 **スピーカー端子を右に回して締める。**



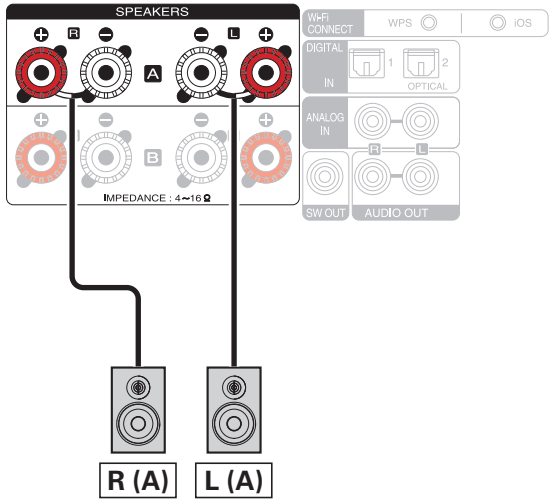
サブウーハーを接続する

サブウーハーケーブルを使用して、サブウーハーと接続します。

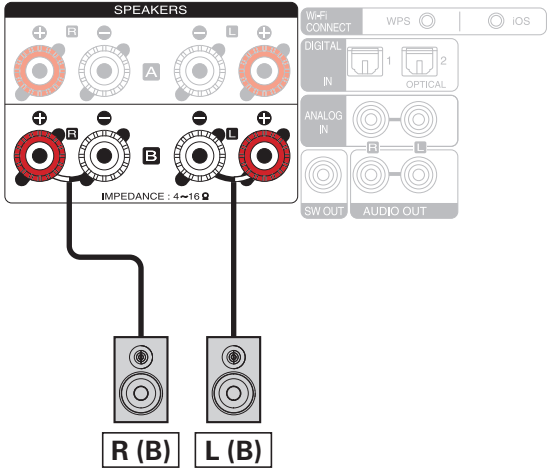


- サブウーハーの音量は、スピーカー A の音量に連動します。
- 音声を出力するスピーカーを“スピーカー B が有効になりました”に設定したとき、本機はサブウーハー出力しません。

スピーカー A を接続する（標準的な接続）



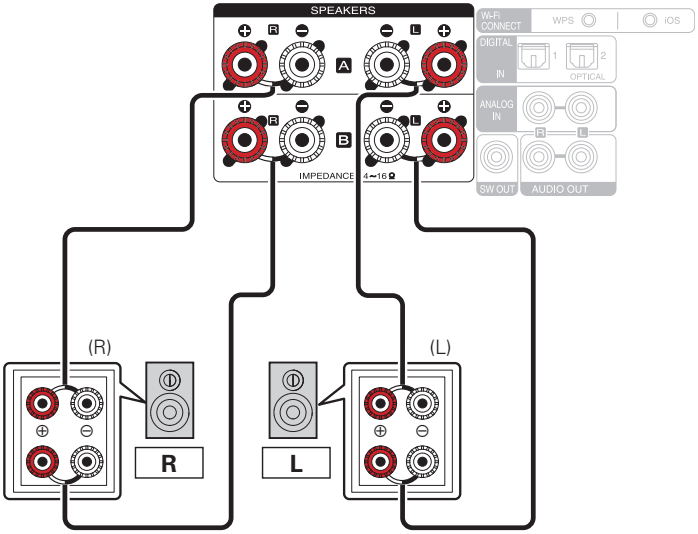
スピーカーBを接続する



- この接続をおこなう場合は、設定メニューの“バイアンプ”を“無効”に設定してください。(☞93 ページ)
- スピーカー A の他にスピーカー B を接続することで、別々に音声を出力したり、両方から音声を出力したりして楽しむマルチドライブ接続が可能です。(☞83 ページ)

バイアンプ接続をする

バイアンプ接続は、バイアンプ対応スピーカーのツィーター用端子とウーハー用端子に、別々のアンプを接続する方法です。これによりウーハーの逆起電力(出力されずに戻ってくる電力)がツィーターに流れ込んでツィーターの音質に影響を及ぼすことがないため、より高音質な再生をお楽しみいただくことができます。



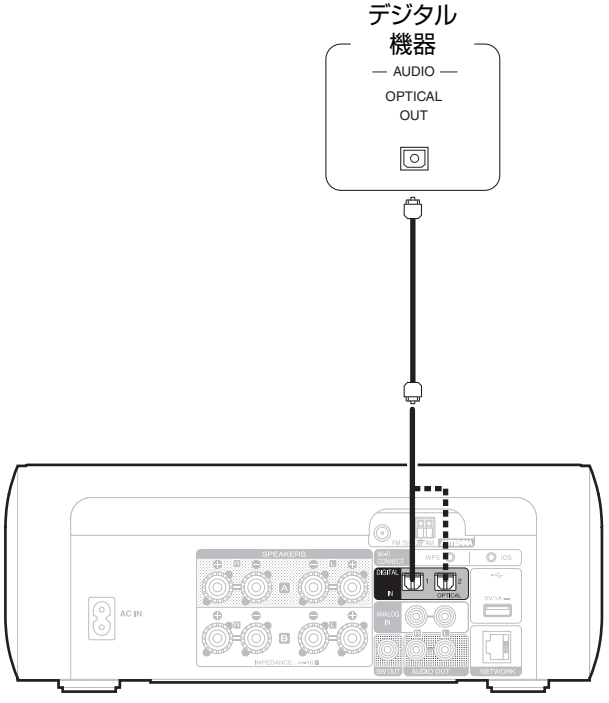
- この接続をおこなう場合は、設定メニューの“バイアンプ”を“有効”に設定してください。(☞93 ページ)

ご注意

- バイアンプ接続をおこなう場合は、スピーカーのウーハー端子とツィーター端子を接続している短絡板または短絡用ワイヤーを必ず外してください。

デジタル機器を接続する

デジタル出力端子を持つ機器と接続します(TV 等)。

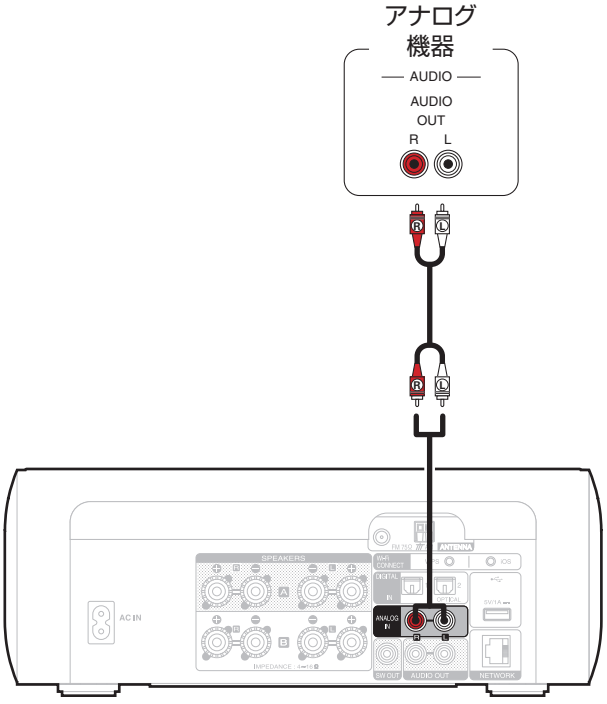


ご注意

- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC など、リニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

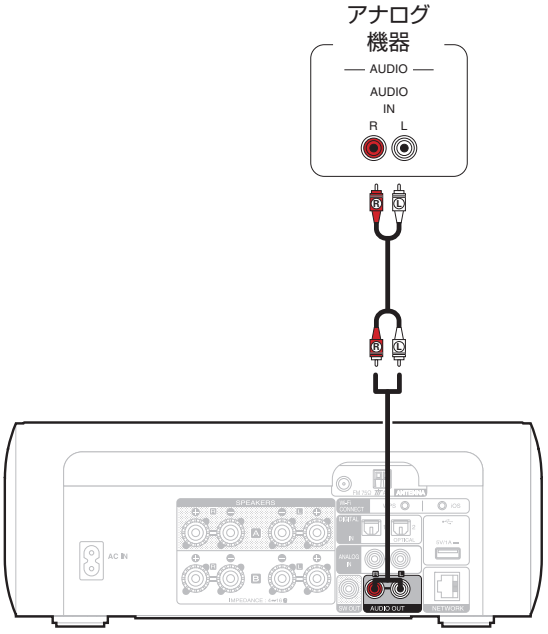
アナログ機器を接続する

アナログ出力端子を持つ機器と接続します。



アンプを接続する

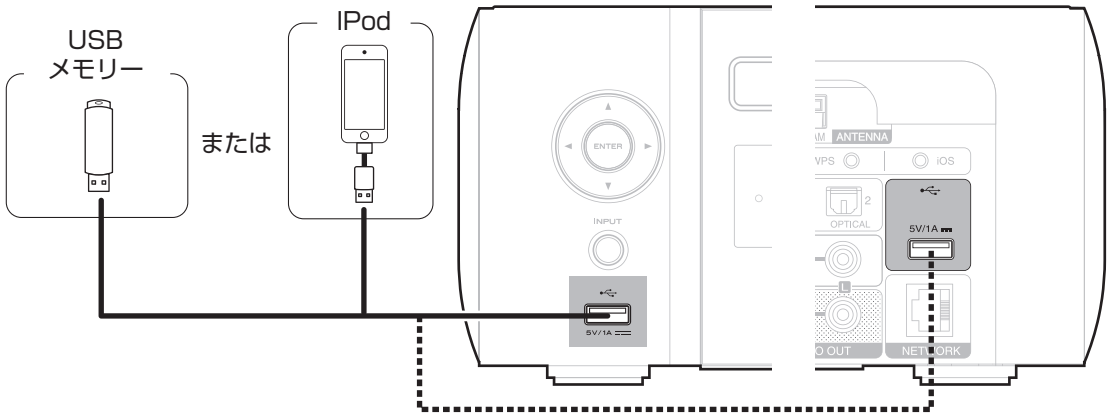
アナログ入力端子を持つ機器と接続します。



- アナログ音声出力の音量調節について、“可変出力”と“固定出力”の切り替えができます。(☞95 ページ)
- アナログ音声出力の音量調節を、“可変出力”にした場合、その音量はスピーカー A の音量に連動します。音声を出力するスピーカーを“スピーカー B が有効になりました”に設定したとき、本機はアナログ音声出力しません。(☞84 ページ)

USB端子にiPodまたはUSBメモリーを接続する

- 本機と iPod/iPhone を接続するときは、iPod/iPhone に付属の USB ケーブルを使用してください。
- 操作のしかたは、「iPod を再生する」(☞54 ページ)または「USB メモリーに保存されているファイルを再生する」(☞59 ページ)をご覧ください。



- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

■ 対応している iPod/iPhone

- iPod classic

iPod classic
80GB

iPod classic
160GB (2007)

iPod classic
160GB (2009)

- iPod nano

iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB

iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB

iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB

iPod nano
6th generation
8GB 16GB

iPod nano
7th generation
16GB

- iPod touch

iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB

iPod touch
3rd generation
32GB 64GB

iPod touch
4th generation
8GB 16GB 32GB 64GB

iPod touch
5th generation
16GB 32GB 64GB

- iPod touch

iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB

iPod touch
3rd generation
32GB 64GB

iPod touch
4th generation
8GB 16GB 32GB 64GB

iPod touch
5th generation
16GB 32GB 64GB

- iPod touch

iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB

iPod touch
3rd generation
32GB 64GB

iPod touch
4th generation
8GB 16GB 32GB 64GB

iPod touch
5th generation
16GB 32GB 64GB

- iPhone

iPhone 3G
8GB 16GB

iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB

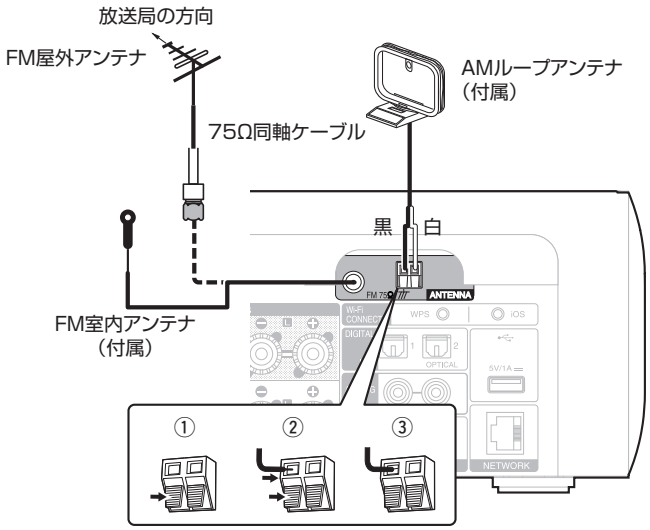
iPhone 4
8GB 16GB 32GB

iPhone 4S
16GB 32GB 64GB

iPhone 5
iPhone 5c iPhone 5s
16GB 32GB 64GB

FM/AMアンテナを接続する

アンテナを接続したあとに放送を受信し、雑音の少ない位置にテープなどで固定してください。「FM/AM 放送を聴く」(☞50 ページ)



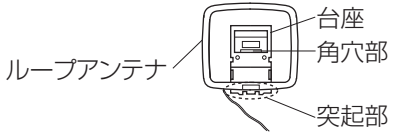
ご注意

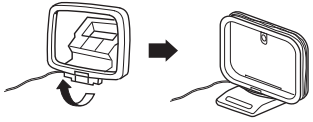
- 2 つの FM アンテナを同時に接続しないでください。
- 放送を良好に受信できない場合は、屋外アンテナの設置をおすすめします。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- AM 屋外アンテナを接続した場合も、AM ループアンテナを外さないでください。
- AM ループアンテナ線がリアパネルやねじに接触していないか確認してください。

■ AM ループアンテナの組み立てかた

1 **台座部をループアンテナの後ろから、ループアンテナの下を通して、手前に曲げる。**

2 **突起部を台座の角穴部に、差し込む。**

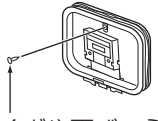




■ AM ループアンテナの使いかた

壁に掛けて使う

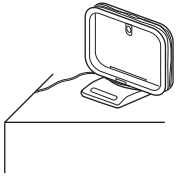
組み立てずにそのままお使いください。



置いて使う

図のように組み立ててお使いください。

組み立てかたは、「AM ループアンテナの組み立てかた」をご覧ください。



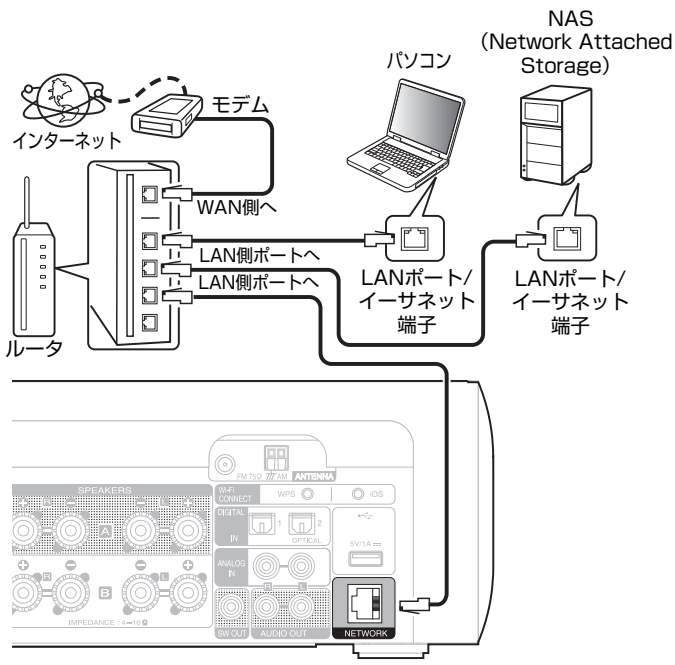
ホームネットワーク(LAN)に接続する

本機はホームネットワーク(LAN)に接続して、次のさまざまな再生や操作をおこなうことができます。

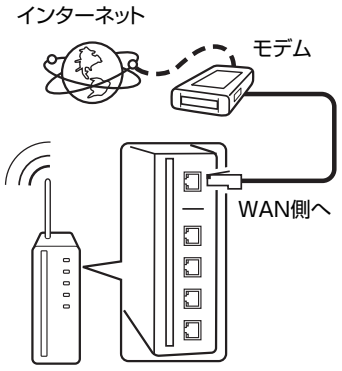
- インターネットラジオやミュージックサーバーなどのネットワークオーディオの再生
- AirPlay 再生
- ネットワークを経由した本機の操作
- ファームウェアのアップデート

インターネットの接続については、ISP(インターネット・サービスプロバイダ)またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

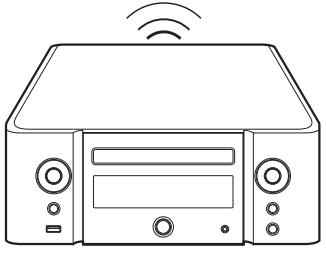
有線LAN



無線LAN



アクセスポイント付きルータ



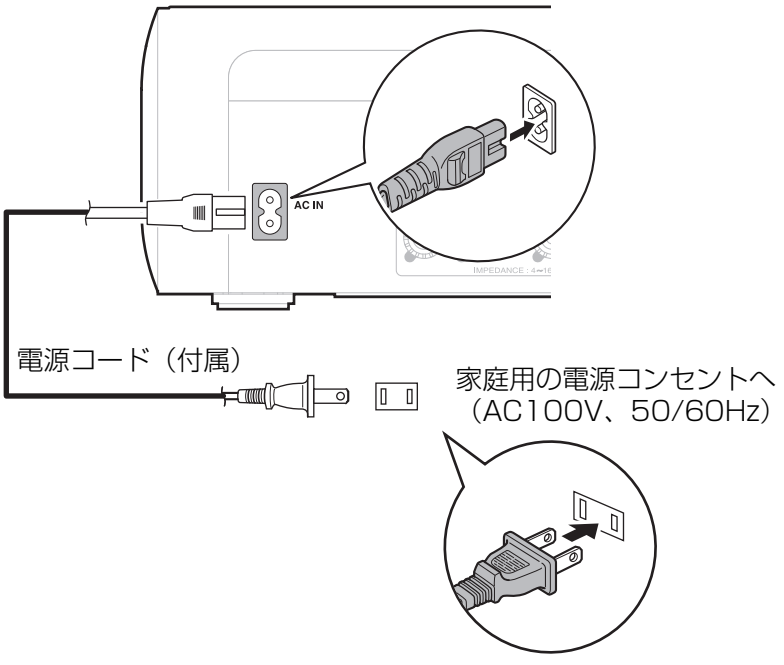
- 本機は DHCP 機能や Auto IP 機能を使用して、自動的にネットワークの設定ができます。
- ブロードバンドルータ（DHCP 機能）をご使用の場合は、本機が自動的に IP アドレスなどの設定をおこないます。DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してご使用になる場合は、設定メニューの“ネットワーク”で IP アドレスなどの設定をおこなってください。（☞99 ページ）
- 本機を使用するにあたって、次の機能が装備されているルータをおすすめします。
  - DHCP サーバー内蔵
    LAN 上の IP アドレスを自動的に割り振る機能です。
  - 100BASE-TX スイッチ内蔵
    複数の機器を接続するために、100Mbps 以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。
- STP タイプまたは ScTP タイプのシールド LAN ケーブルを使用してください。（CAT-5 以上を推奨）
- LAN ケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルを使用すると、ノイズが他の機器に影響を及ぼす可能性があります。
- WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能に対応したルータを使用すると、本機の Wi-Fi CONNECT/WPS ボタンを使用して簡単に Wi-Fi 接続することができます。（別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。）

ご注意

- ISP 業者によって使用できるルータの種類が異なります。詳しくは、ISP 業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- 本機は PPPoE に対応していません。PPPoE で設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE 対応のルータが必要です。
- NETWORK 端子は、直接パソコンの LAN ポート/イーサネット端子と接続しないでください。
- 電気通信端末機器認定品の市販ルータ等に LAN 接続してください。

電源コードの接続

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



再生のしかた

■ 目次

基本操作

電源を入れる 36
入力ソースを選ぶ 36
音量を調節する 37
一時的に音を消す（ミューティング） 37

機器を再生する

CD の再生 38
データ CD の再生 40
FM/AM 放送を聴く 50
iPod を再生する 54
USB メモリーの再生 58
Bluetooth 機器の音楽を聴く 60
デジタル入力で聴く 66
アナログ入力で聴く 66

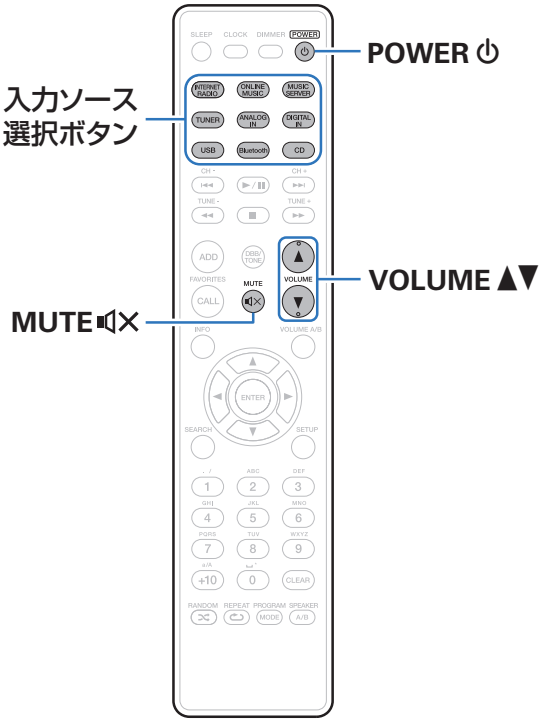
ネットワークオーディオ/サービスを再生する

インターネットラジオを聴く 42
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する 46
AirPlay 機能 67

その他の機能

お気に入り機能 52
Remote play 機能 70
ウェブコントロール機能 73
便利な機能 79

基本操作



電源を入れる

1 POWER ⏻ を押して、電源を入れる。

- 本体の ⏻ を押しても電源を入れることができます。

入力ソースを選ぶ

1 再生する入力ソース選択ボタンを押す。

入力ソースをダイレクトに選択できます。

- TUNER をもう一度押すと、FM/AM の切り替えをおこないます。
- DIGITAL IN をもう一度押すと、Optical In 1/2 の切り替えをおこないます。
- USB をもう一度押すと、Front USB/Rear USB の切り替えをおこないます。
- 本体の INPUT を押しても、入力ソースを選択できます。

音量を調節する

1 VOLUME ▲▼ を押して、音量を調節する。

音量レベルを表示します。

- 本体の VOLUME ▲▼ を押しても、音量を調節できます。
- 2組のスピーカーを接続し、音声を出力するスピーカーを“スピーカー A と B とが有効になりました”に設定している場合、音量 A/B ボタンで選んだスピーカーの音量を調節することができます。(☞84 ページ)

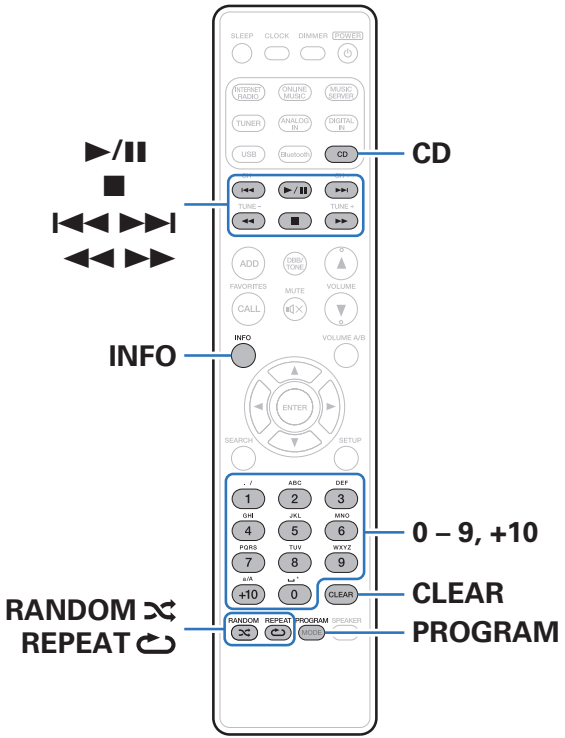
一時的に音を消す(ミューティング)

1 MUTE 🔇 を押す。

ディスプレイに“MUTING”を表示します。

- ミューティングを解除するときは、音量を調節するか、もう一度 MUTE🔇 を押してください。

CD の再生



CD の再生

1 CD を押して、入力ソースを “CD” に切り替える。

2 ディスクトレイにディスクを入れる。(☞131 ページ)

再生をはじめます。

- 本体の ⏏ を押すと、ディスクトレイは開閉します。

- CD の自動再生をするかしないか設定できます。(☞93 ページ)

ご注意

- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。
- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。

操作ボタン	機能
►/II	再生/一時停止
■	停止
I◄◄ ►►I	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
◄◄ ►►	（長押し） 早戻し/早送り
0〜9、+10	ダイレクト選曲
RANDOM	ランダム再生 • 停止中に設定できます。
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
INFO	経過時間表示の切り替え

好きな順に再生する（プログラム再生）

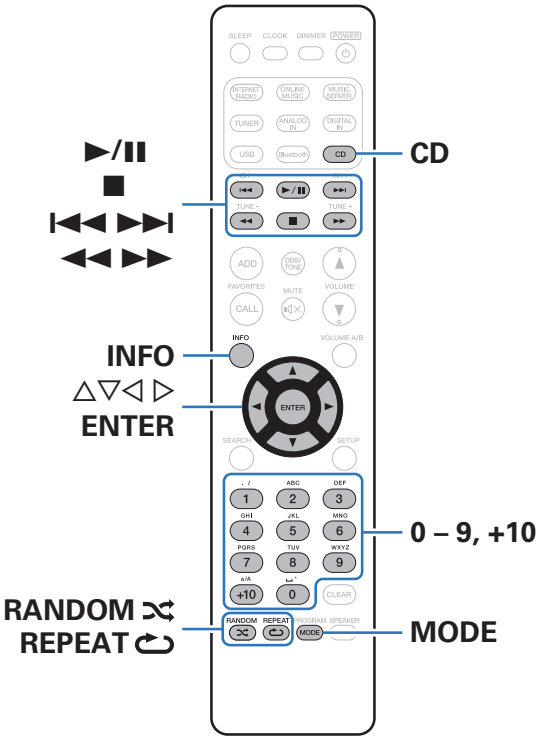
1 **停止中に PROGRAM を押す。**
“プログラム”と表示される。

2 **0 ～ 9、+10 を押して、トラック番号を入力する。**
【例】3 曲目、12 曲目、7 曲目の順にプログラムする場合は、PROGRAM、3、+10、2、7 と押す。

3 **►/II を押す。**

- ディスクトレイを開けたり、電源を切ったりするとプログラムを解除します。
- 停止中に CLEAR を押すと、プログラムした最後の曲を取り消します。►►I を押すと、取り消したい曲を選択できます。
- 停止中に PROGRAM を押すと、プログラムした曲が取り消されます。
- 最大 25 曲までプログラムできます。
- プログラム再生中に RANDOM を押すと、プログラムした曲をランダムに再生します。
- プログラム再生中に REPEAT を押すと、プログラムした曲順でくり返し再生します。

データ CD の再生



- ここでは、CD-R または CD-RW に記録している MP3 と WMA ファイルの再生のしかたを説明します。
- インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA (Windows Media® Audio)形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽(ファイル)を CD-R または CD-RW に書き込むことにより、本機で再生できます。

“Windows Media”および“Windows”は、米国やその他の国で、米国“Microsoft Corporation”の登録商標または商標です。

ファイルを再生する

1 **CD を押して、入力ソースを“CD”に切り替える。**

2 **MP3 や WMA 形式の音楽ファイルを記録してある CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる。**
(☞131 ページ)
再生をはじめます。

- CD の自動再生をするかしないか設定できます。(☞93 ページ)

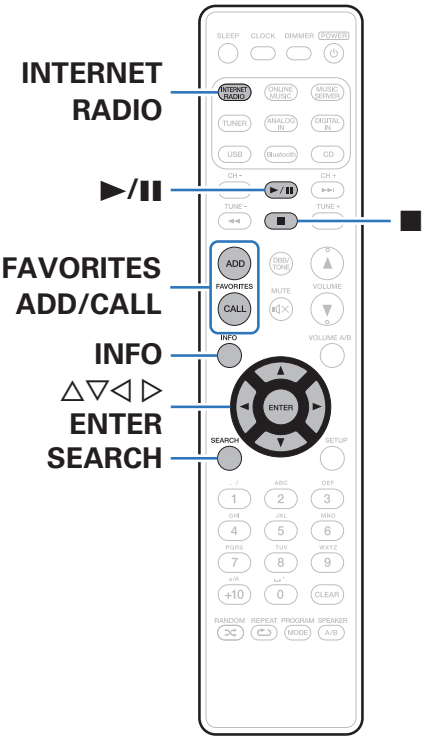
操作ボタン	機能
▶/II	再生/一時停止
■	停止
I◀◀ ▶▶I	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
◀◀ ▶▶	(長押し)早戻し/早送り
△ ▽	フォルダの選択
◁ ▷	ファイルの選択
0〜9、+10	ダイレクト選曲
MODE	再生モードの切り替え • 選択したフォルダ内のすべてのファイルを再生するか、ディスク内のすべての曲を再生するかを切り替えます。
RANDOM	ランダム再生 • 停止中に設定できます。
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
INFO	アーティスト名とアルバム名の表示を切り替えます。

- 本機はディスク読み込み時にフォルダの番号とファイルの番号を自動的に設定します。

■ 再生できるファイルについて

「データ CD を再生する」(☞125 ページ)をご覧ください。

インターネットラジオを聴く



- インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴くことができます。
- 本機で再生できる放送局の種類は、次のとおりです。
  - WMA
  - MP3
  - MPEG-4 AAC

インターネットラジオを聴く

本機は前回再生したインターネットラジオ局を記憶しています。INTERNET RADIO を押すと、他の入力ソースからインターネットラジオに切り替わり、前回再生していたインターネットラジオ局を再生します。

1 再生の準備をする。

- ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる。(☞31 ページ)

2 INTERNET RADIO を押す。

3 △▽ を押して再生したい項目を選び、ENTER を押す。

日本:	日本の一般的なインターネットラジオ局を表示します。
ラジオ局の検索:	本機で受信できるすべてのインターネットラジオ局を表示します。
Podcasts の検索:	本機で受信できるポッドキャスト内のインターネットラジオ局を表示します。
お奨めのラジオ局:	おすすめのインターネットラジオ局を表示します。
radiomarantz.com:	vTuner でお気に入りに登録しているインターネットラジオ局を表示します。vTuner でのお気に入り登録のしかたは、「vTuner でインターネットラジオ局をお気に入り登録する」(☞45 ページ)をご覧ください。
最近再生したラジオ局:	最近再生したインターネットラジオ局を表示します。最大 20 局まで“最近再生したラジオ局”へ自動的に記憶します。
文字列による検索:	キーワード検索したインターネットラジオ局を表示します。文字の入力方法については、「文字入力」(☞89 ページ)をご覧ください。

4 △▽ を押してラジオ局を選び、ENTER を押す。

バッファリングが“100%”表示になると、再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶/❚❚	再生
■	停止
FAVORITES CALL	お気に入りリストからの呼び出し
FAVORITES ADD	お気に入りリストへの追加
SEARCH	文字検索 • リストがアルファベット順に並んでいない場合、文字検索ができないことがあります。
△▽◁▷	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	ファイルタイプ/ビットレートや放送局名などの表示を切り替えます。

• ディスプレイ表示に対応していない文字は、“ . ”(ピリオド)に置き換えて表示します。

ご注意

• ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。

前回再生していたインターネットラジオ局を再生する

1 **INTERNET RADIO を押す。**

入力ソースを“Internet Radio”に切り替え、前回再生していたインターネットラジオ局を再生します。

vTuner でインターネットラジオ局をお気に入り登録する

世界中にはたくさんのインターネットラジオ局があり、本機はそれらを受信できます。しかし、ラジオ局が多すぎるために聴きたい放送を探すのは大変です。そこで本機専用のインターネットラジオ局検索ウェブサイト vTuner を使用してください。お手持ちのパソコンを使用して、インターネットラジオ局の検索と登録ができます。本機では vTuner に登録したラジオ局を再生できます。

1 本機の MAC アドレスを確認する。「ネットワーク情報」(☞99 ページ)

- MAC アドレスは、vTuner のアカウント作成の際に必要になります。

2 お手持ちのパソコンから vTuner のサイト(http://www.radiomarantz.com)にアクセスする。

3 本機の MAC アドレスを入力し、“Go” をクリックする。

4 パソコンの E-mail アドレスと任意のパスワードを入力する。

5 お好みで検索条件(ジャンル/ 地域/ 言語など)を選ぶ。

- キーワードを入力し、聴きたい曲を探すこともできます。

6 表示されたリストからお好みのラジオ局を選び、お気に入り登録アイコンをクリックする。

7 お気に入りグループ名を入力し、“Go” をクリックする。

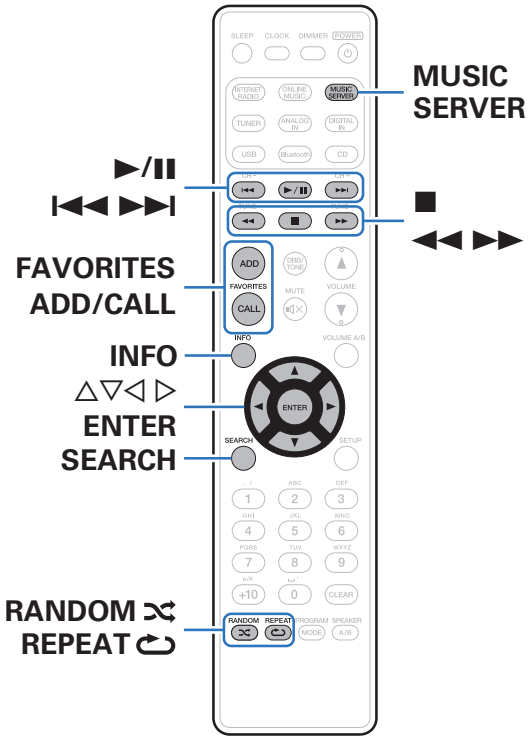
選択されたラジオ局が入ったお気に入りグループを新たに作成します。

- vTuner のお気に入りに登録したインターネットラジオ局は、本機の “ radiomarantz.com” (☞43 ページ)から再生できます。

■ 再生できるファイルについて

「インターネットラジオ局の再生について」(☞128 ページ)をご覧ください。

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する



- 本機では、パソコンや DLNA 対応のネットワーク接続ストレージ(NAS)に保存されている音楽ファイルやプレイリスト(m3u、wpl)を再生できます。
- 本機のネットワークオーディオ再生機能では、次の技術を利用してサーバーに接続します。
  - Windows Media Player Network Sharing Service
- 本機で再生できるファイルは、次のとおりです。
  - WMA
  - MP3
  - WAV
  - MPEG-4 AAC
  - FLAC
  - ALAC
  - AIFF
  - DSD(2.8MHz)

メディアの共有設定をおこなう

パソコンや NAS に保存されている音楽ファイルをネットワーク上で共有するための設定をおこないます。
ミュージックサーバーを使用する場合は、事前に必ずこの設定をおこなってください。

■ Windows Media Player 12(Windows 7/ Windows 8)を使用する場合

1 パソコンで Windows Media Player 12 を起動する。

2 “ストリーム”から“その他のストリーミング　オプション...”を選ぶ。

3 “Marantz M-CR611”のドロップダウンリストで“許可”を選ぶ。

4 “このPCとリモート接続のメディアプログラム...”のドロップダウンリストで“許可”を選ぶ。

5 画面に従い、設定を終了する。

■ Windows Media Player 11 を使用する場合

1 パソコンで Windows Media Player 11 を起動する。

2 “ライブラリ”から“メディアの共有”を選ぶ。

3 “メディアを共有する”をチェックして“Marantz M-CR611”を選び、“許可”をクリックする。

4 手順 3 と同様に、メディアコントローラーとして使用したい機器(他のパソコンやモバイル端末)のアイコンを選び、“許可”をクリックする。

5 “OK”をクリックして終了する。

■ NAS に保存したメディアを共有する

本機およびメディアコントローラーとして使用したい機器(他のパソコンやモバイル端末)が NAS にアクセスできるように NAS の設定を変更してください。詳しくは、ご使用の NAS に付属の取扱説明書をご覧ください。

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する

音楽ファイルやプレイリストを再生できます。

1 再生の準備をする。

① ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる。「ホームネットワーク(LAN)に接続する」(☞31 ページ)

② パソコンの準備をする(☞ パソコンの取扱説明書)。

2 MUSIC SERVER を押す。

3 △▽ を押して再生したいファイルのあるサーバーを選び、ENTER を押す。

4 △▽ を押してファイルを選び、ENTER を押す。

バッファリングが“100%”表示になると、再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶/❚❚	再生/一時停止
■	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
◀◀ ▶▶	(長押し) 早戻し/早送り
FAVORITES CALL	お気に入りリストからの呼び出し
FAVORITES ADD	お気に入りリストへの追加
SEARCH	文字検索 • リストがアルファベット順に並んでいない場合、文字検索ができないことがあります。
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
△ ▽ ◁ ▷	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	ファイルタイプ/ビットレートやアーティスト名、アルバム名の表示の切り替え

■ 再生できるファイルについて

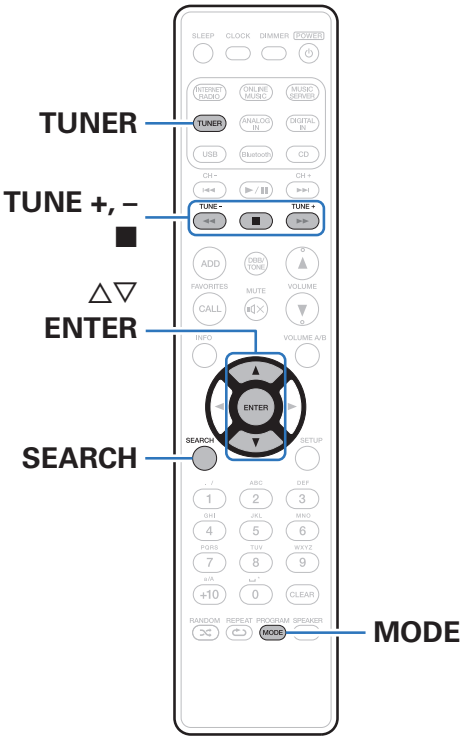
「パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する」(☞129 ページ)をご覧ください。

- Windows Media Player(バージョン 11 以上)などのトランスコードに対応したサーバーをご使用になる場合は、WMA Lossless ファイルを再生できます。

ご注意

- 無線 LAN を経由して接続されたパソコンまたは NAS で音楽ファイルを再生すると、無線 LAN 環境に応じて音声が中断されることがあります。この場合は、有線 LAN で接続してパソコンや NAS との音楽ファイルを再生してください。
- 曲の表示順は、サーバーの仕様によって異なります。サーバーの仕様によって、曲の表示順がアルファベット順にならない場合は、頭文字での検索が正しく動作しないことがあります。

FM/AM放送を聴く



アンテナの接続については、(「FM/AM アンテナを接続する」(☞29 ページ))をご覧ください。

FM/AM放送を聴く

1 **TUNER を押して、受信バンドを選ぶ。**

FM:	FM 放送を聴くときに選択します。
AM:	AM 放送を聴くときに選択します。

2 **TUNE +または TUNE –を押して、聴きたい放送局を選ぶ。**

受信すると、TUNED 表示が点灯します。

受信モードを変更する(チューニングモード)

受信モードを変更します。オートモード(AUTO)で自動的に放送局を受信できないときは、マニュアルモード(表示無し)に変更し、手動で放送局を受信してください。

1 **MODE を押す。**

オート(AUTO):	自動的に受信できる放送局を探して受信するモードです。
マニュアル (表示無し):	ボタン操作で 1 ステップずつ周波数を切り替えて受信するモードです。

FM 放送局を自動的にプリセットする(オートプリセット)

お気に入りリストに最大 50 局の放送局を登録できます。お気に入りリストについては、「お気に入り機能」(☞52 ページ)をご覧ください。

1 **FM 放送局を受信中に SEARCH を押す。**

“オートプリセット”メニューを表示します。

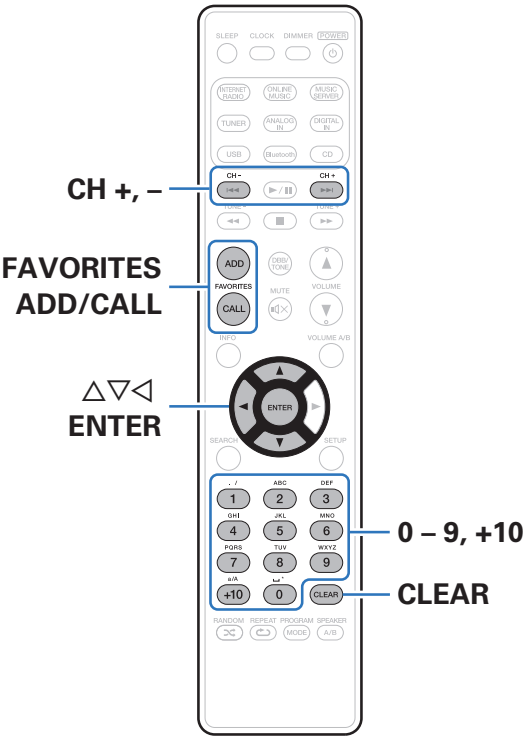
2 **△▽ を押して“開始する”を選び、ENTER を押す。**

自動で放送局を受信し、プリセットをはじめます。

- プリセットが完了すると“設定完了しました”を表示します。

- オートチューニングを停止するときは ■ を押してください。
- アンテナの電波が弱い放送局は、オートプリセットができません。このような場合は、マニュアルチューニングで受信してください。
- お気に入りのリスト 50 個すべての項目が登録されると、追加登録ができません。
- AM 放送局はオートプリセットできません。

お気に入り機能



ここではお気に入り機能について説明します。

- お気に入り機能とは、好きな放送局やファイルをあらかじめお気に入りリストに登録することにより、いつでもすぐに好きな放送局やファイルを呼び出して聴くことができる機能です。
- 登録や呼び出しが可能なコンテンツは、インターネットラジオ、ミュージックサーバー、チューナー、USB および iPod です（“On-Display”モード時のみ）。
- お気に入りリストには最大 50 個の放送局やファイルを登録できます。

放送局またはファイルをお気に入りリストに登録する

1 **登録したい放送局やファイルを再生中に FAVORITES ADD を押す。**

2 **△▽ を押して再生中の放送局またはファイルを登録する番号を選び、ENTER を押す。**
“お気に入りに追加”を表示し、登録を完了します。

お気に入りリストに登録した放送局またはファイルを呼び出す

1 **FAVORITES CALL を押す。**

2 **CH+、CH−または △▽ を押して呼び出したい放送局またはファイルを選び、ENTER を押す。**
各ソースに移行して、再生をはじめます。

- 0〜9、+10 を押すと、お気に入りに登録した放送局やファイルを番号で呼び出せます。

お気に入りリストに登録した放送局やファイルを再生中、登録した放送局またはファイルを切り替える

1 **CH+、CH−または △▽ を押す。**

お気に入りリストから放送局またはファイルを削除する

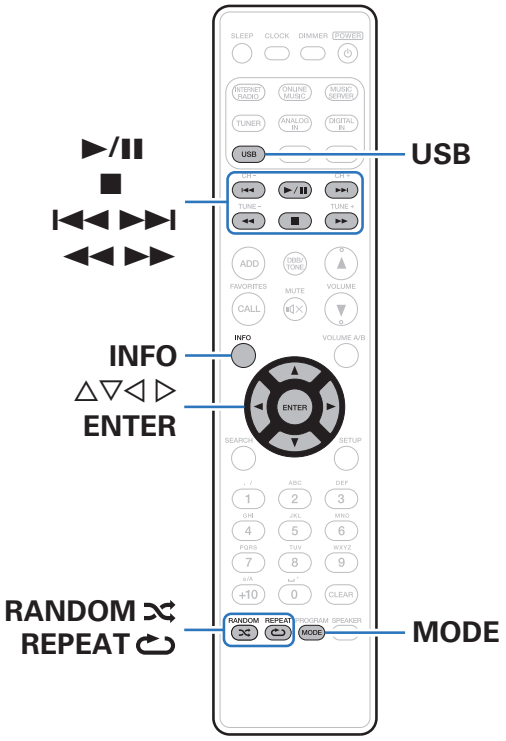
1 **FAVORITES CALL を押す。**

2 **△▽ を押して削除したい放送局またはファイルを選び、CLEAR を押す。**

3 **“削除しますか？”が表示されたら ENTER を押す。**
“削除しました。”を表示し、削除を完了します。

- 操作を中止するときは、◁ を押してください。

iPodを再生する



- iPod に付属している USB ケーブルを使用して iPod を本機の USB 端子に接続すると、iPod の音楽を楽しむことができます。
- 本機で再生できる iPod は、「対応している iPod/iPhone」(☞28 ページ)をご覧ください。

iPod の音楽を聴く

1 iPod を本機の USB 端子に接続する。(☞27 ページ)

iPod をフロントの USB 端子に接続すると、自動的に入力ソースが“Front USB”に切り替わります。

2 USB を押して、入力ソースを“Front USB”または“Rear USB”に切り替える。

本体のディスプレイに“From iPod”を表示します。

3 iPod の画面を見ながら直接 iPod 本体を操作して、音楽を再生する。

- iPod の表示モードには、“From iPod”と“On-Display”があります。お買い上げ時の設定は、iPod の画面を見ながら直接 iPod 本体を操作する“From iPod”です。
- iPod の情報を本機のディスプレイに表示させて操作する“On-Display”に変更したい場合は、「オペレーションモードの設定(“On-Display”モード)」(☞56 ページ)をご覧ください。
- iPod の音楽は、「AirPlay 機能」(☞67 ページ)を使用しても聴くことができます。

ご注意

- iPod の種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。
- 万一 iPod のデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。

オペレーションモードの設定(“On-Display”モード)

このモードでは、iPod の各種リストや再生中の表示を本機のディスプレイに表示します。
ここでは、“On-Display”で iPod 内の曲を再生するまでの手順を説明します。

1 **MODE を押して、“On-Display”を表示させる。**

2 **△▽ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押す。**

再生をはじめます。

表示モード		From iPod	On-Display
再生できるファイル	音楽ファイル	✓	✓
	映像ファイル	*	
操作できるボタン	本機のリモコン	✓	✓
	iPod	✓	

* 音声のみ再生します。

操作ボタン	機能
▶/❚❚	再生/一時停止
■	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
◀◀ ▶▶	(長押し) 早戻し/早送り
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
MODE	On-Display と From iPod を切り替えます。
△ ▽ ◁ ▷	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	アーティスト名とアルバム名の表示切り替え

ご注意

- 万一 iPod のデータを消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
- iPod の種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。

iPod/iPhoneの充電

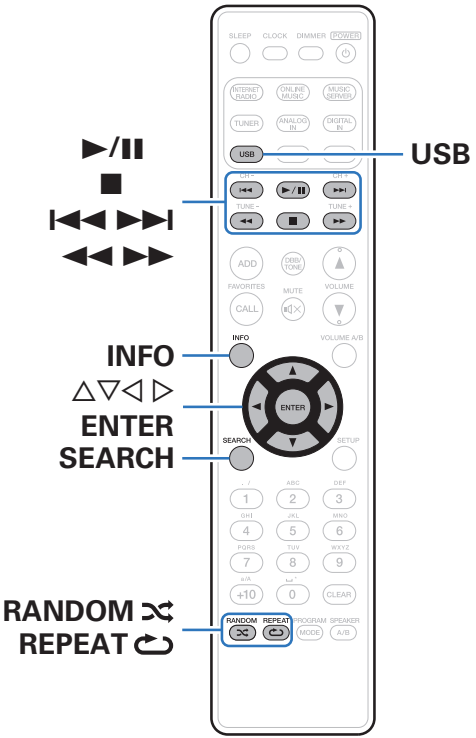
iPod や iPhone を USB 端子に接続すると、充電ができます。

■ スタンバイ充電

iPod や iPhone を充電中に本機がスタンバイ状態に入った場合、スタンバイ充電モードに切り替えて、iPod や iPhone を充電します。スタンバイ充電モードでは、電源表示が赤色に変わります。

iPod や iPhone が完全に充電されると、電源表示が消灯し、通常のスタンバイ状態になります。

USB メモリーの再生



- USB メモリーに保存されている音楽ファイルを再生できます。
- 本機は、マスストレージクラスおよび MTP(Media Transfer Protocol)に対応している USB メモリーのみ再生できます。
- USB メモリーは、FAT16 または FAT32 フォーマットに対応しています。
- 本機で再生できるファイルは、次のとおりです。
  - MP3
  - WMA
  - WAV
  - MPEG-4 AAC
  - FLAC
  - ALAC
  - AIFF
  - DSD(2.8MHz)

USB メモリーに保存されているファイルを再生する

1 USB メモリーを本機の USB 端子に接続する。
(☞27 ページ)

USB メモリーをフロントの USB 端子に接続すると、自動的に入力ソースが“Front USB”に切り替わります。

2 USB を押して、入力ソースを“Front USB”または“Rear USB”に切り替える。

3 △▽ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押す。

再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶/II	再生/一時停止
■	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
◀◀ ▶▶	(長押し) 早戻し/早送り
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
SEARCH	文字検索 • リストがアルファベット順に並んでいない場合、文字検索ができないことがあります。
△ ▽ ◁ ▷	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	アーティスト名とアルバム名の表示切り替え

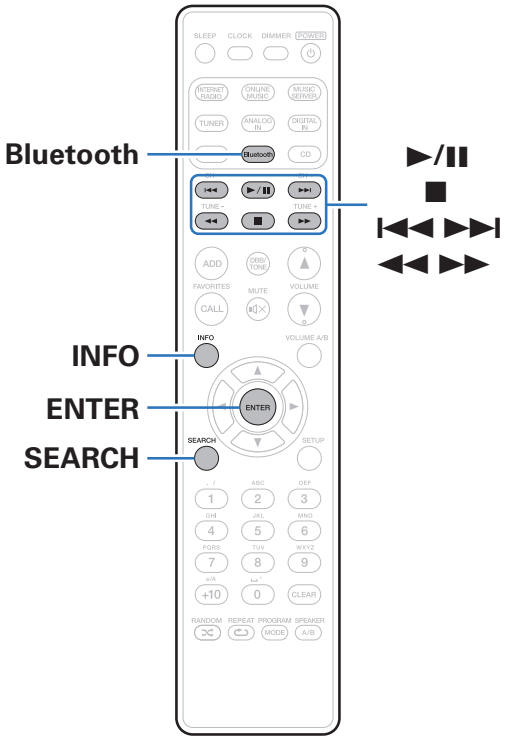
ご注意

- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。

■ 再生できるファイルについて

「USB メモリーを再生する」(☞126 ページ)をご覧ください。

Bluetooth 機器の音楽を聴く



スマートフォンやデジタル音楽プレーヤーなどの Bluetooth 機器と本機をペアリングして接続すると、Bluetooth 機器の音楽ファイルをワイヤレスで楽しむことができます。

約 10m の範囲内で通信できます。

ご注意

- Bluetooth 機器側の音楽を再生するには、Bluetooth 機器側が A2DP プロファイルをサポートしている必要があります。

Bluetooth 機器とペアリングする

Bluetooth 機器の音楽を本機で楽しむときは、あらかじめご使用になる Bluetooth 機器と本機をペアリングしてください。
一度ペアリングすれば、再度ペアリングする必要はありません。

1 Bluetooth を押して、入力ソースを “Bluetooth” に切り替える。

はじめてご使用になる場合は、自動的にペアリングモードになり、本機のディスプレイに “ペアリングモード” を表示します。

2 Bluetooth 機器の Bluetooth 機能を有効にする。

3 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。

本機のディスプレイに “ペアリングモード” が表示されている間に、Bluetooth 機器の接続操作をおこなってください。
また、Bluetooth 機器の接続操作は、本機に近い距離（1m 程度）でおこなってください。

4 本機のディスプレイに数字が表示された場合は、Bluetooth 機器の画面に表示された数字と同じであることを確認し、本機と Bluetooth 機器ともに “ペアリング” を選択する。（本機で “ペアリング” を選択するには、本機の ENTER を押す。）

ペアリングが完了すると、本機のディスプレイに機器名を表示します。

5 Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。

- 本機のリモコンでも Bluetooth 機器を操作できます。
- 次回以降入力ソースを “Bluetooth” に切り替えた場合、本機は自動的に最後に接続していた Bluetooth 機器に接続します。

- Bluetooth 機器側の画面でパスキーを要求された場合は、“0000” を入力してください。

操作ボタン	機能
▶/❚❚	再生/一時停止
■	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
◀◀ ▶▶	(長押し)早戻し/早送り

- 再生中にリモコンの INFO を押すと、アーティスト名、アルバム名などを切り替えて表示します。
- 対応していない文字は“.(ピリオド)”に置き換えて表示します。

ご注意

- 本機のリモコンで操作するには、Bluetooth 機器側が AVRCP プロファイルに対応している必要があります。
- すべての Bluetooth 機器に対するリモコン操作を保証するものではありません。
- Bluetooth 機器によっては、本機は Bluetooth 機器側で設定している音量と連動して音声を出力します。

ペアリングモードでペアリングする

Bluetooth 機器と本機をペアリングします。

1 **Bluetooth 機器の Bluetooth 機能を有効にする。**

2 **入力ソースが“Bluetooth”のときに SEARCH を押す。**
ペアリングモードになります。

3 **Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。**

4 **本機のディスプレイに数字が表示された場合は、Bluetooth 機器の画面に表示された数字と同じであることを確認し、本機と Bluetooth 機器ともに“ペアリング”を選択する。(本機で“ペアリング”を選択するには、本機の ENTER を押す。)**
ペアリングが完了すると、本機のディスプレイに機器名を表示します。

- 本機は最大 8 台の Bluetooth 機器とペアリングできます。9 台目の Bluetooth 機器をペアリングすると、一番古い機器に置き換えて登録します。
- Bluetooth 機器側の画面でパスキーを要求された場合は、“0000”を入力してください。
- Bluetooth を 3 秒長押しするか、入力ソースを“Bluetooth”に切り替えたあとに本体の INPUT を 3 秒以上長押ししても、ペアリングモードになります。

Bluetooth 機器から本機に再接続する

ペアリングが済んでいれば、本体の操作をせずに接続することができます。
再生する Bluetooth 機器を切り替える場合にもこの操作をおこなってください。

1 **現在接続している Bluetooth 機器がある場合、その機器の Bluetooth 設定をオフして接続を切断する。**

2 **接続したい Bluetooth 機器の Bluetooth 設定をオンにする。**

3 **お使いの Bluetooth 機器の Bluetooth 機器リストから本機を選択する。**

4 **Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。**

- 本機の電源がオンの状態のとき、Bluetooth 機器の接続操作をおこなうと、自動的に入力ソースを“Bluetooth”に切り替えます。
- 本機の“ネットワーク制御”設定を“オン”にし、本機がスタンバイ状態のときに Bluetooth 機器から接続操作をおこなうと自動的に本機の電源をオンします。

NFC を使用してペアリングする

Bluetooth 機器を本機にタッチするだけで、自動的に本機の電源が入り、Bluetooth 機器のペアリングや接続ができます。

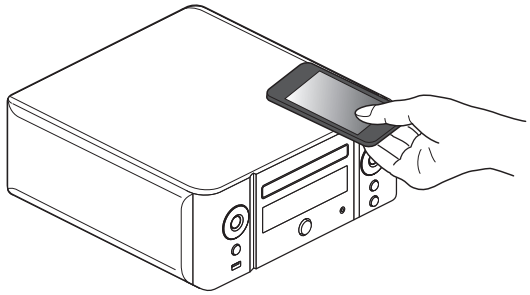
1 Bluetooth 機器の NFC 機能をオンにする。

- 詳しくは、Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

2 Bluetooth 機器の NFC アンテナ部分を本機の N にタッチする。

ペアリング確認の画面が表示される場合は、本体および Bluetooth 機器の表示にしたがってペアリングをおこなってください。

- Bluetooth 機器の指示に従って操作を完了してください。



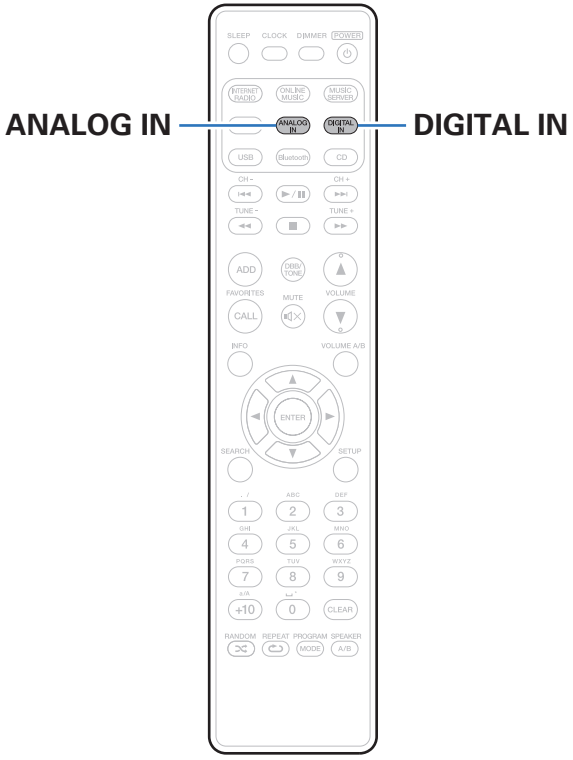
3 Bluetooth 機器で音楽を再生する。

本機から Bluetooth 機器の音楽を出力します。

- “ネットワーク制御”を“オン”に設定すると、本機の電源がオフの状態からも起動および接続することができます。
- 音楽を再生している Bluetooth 機器を本機の N マーク(N)にタッチすると、本機から音楽を出力します。
- Bluetooth 接続中に再度 N マーク(N)をタッチすると、接続を解除します。
- Bluetooth 機器のペアリングおよび接続に失敗した場合は、再度 N マーク(N)にタッチしてください。

ご注意

- NFC 接続をおこなうときは Bluetooth 機器のロック機能を解除してください。
- Bluetooth 機器を本機にタッチするときは軽くタッチしてください。



デジタル入力で聴く

1 **再生の準備をする。**
接続を確認して、本機の電源を入れてください。

2 **DIGITAL IN を押して、“Optical In 1”または“Optical In 2”を選ぶ。**

3 **本機に接続した機器を再生する。**

- 本機のデジタル入力端子に入力できるデジタル音声信号は、2 チャンネルリニア PCM のみです。

アナログ入力で聴く

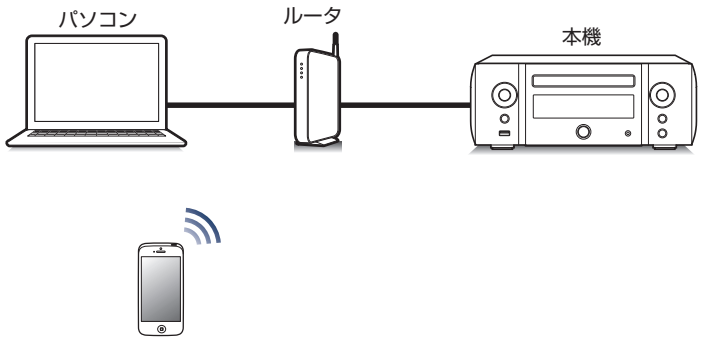
1 **再生の準備をする。**
接続を確認して、本機の電源を入れてください。

2 **ANALOG IN を押して、“Analog In”を選ぶ。**

3 **本機に接続した機器を再生する。**

AirPlay 機能

iPhone、iPod touch、iPad や iTunes に保存されている音楽ファイルを、ネットワークを経由して本機で再生できます。



- 本機の ◁ を押すか他の入力ソースに切り替えると、AirPlay の再生が停止します。
- リモコンの INFO を押すと、曲名とアーティスト名を確認ができます。
- iTunes の使用方法は、iTunes の “ヘルプ” をご覧ください。
- 画面は、OS やソフトのバージョンによって異なる場合があります。

iPhone、iPod touch、iPadの曲を本機で再生する

iPhone、iPod touch、iPadをiOS 4.2.1以上にアップデートすると、iPhone、iPod touch、iPadの曲を本機へダイレクトにストリーミングできます。

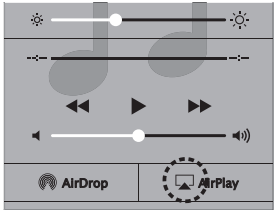
1 **iPhone、iPod touchまたはiPadのWi-Fi設定を本機と同じネットワークに接続する。**

- 詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

2 **iPhone、iPod touch、iPadの曲を再生する。**

iPhone、iPod touchまたはiPadの画面に を表示します。

3 **AirPlayアイコン をタップする。**



4 **本機を選ぶ。**

iTunesの曲を本機で再生する

1 **本機と同じネットワークに接続しているパソコンに、iTunes10以降をインストールする。**

2 **本機の電源を入れる。**

本機の“ネットワーク制御”設定を“オン”にしてください。(☞99ページ)

ご注意

- “ネットワーク制御”を“オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。

3 **iTunesを起動し、AirPlayアイコン をクリックして、本機を選ぶ。**

4 **iTunesで曲を選び、再生する。**

本機で再生をはじめます。

複数のスピーカー(機器)を選ぶ

ご家庭にある本機以外の AirPlay 対応のスピーカー(機器)で iTunes の曲を再生できます。

1 AirPlay アイコン をクリックして、“複数の” を選ぶ。

2 再生したいスピーカー(機器)をクリックする。

ご注意

- AirPlay 機能を使用して再生する場合は、iPhone、iPod touch、iPad または iTunes で設定している音量で出力します。
  再生する前に、iPhone、iPod touch、iPad または iTunes の音量を最小にしてから適切な音量に調節してください。

Remote play機能

ご家庭のネットワークを使用してパソコンや NAS に保存している音楽ファイル、スマートフォンやポータブルオーディオプレーヤーに保存している音楽ファイルを本機で再生できます。

このとき、操作はパソコン、スマートフォンまたはポータブルオーディオプレーヤーで操作します。

- それぞれの機器が DLNA(Digital Living Network Alliance)の Ver. 1.5 規格に準拠している必要があります。
- スマートフォンやポータブルオーディオの再生にはワイヤレス LAN の環境が必要です。
- スマートフォンによっては、DLNA の音楽再生のためのアプリをインストールする必要がある場合があります。

■ それぞれの機器の役割

Remote play には次の機器を使用します。DLNA 規格上、それぞれの役割によって DMC、DMS、DMR と呼びます。

呼称	機器例	役割
DMC (Digital Media Controller)	• パソコン • スマートフォン • ポータブルオーディオプレーヤー • Marantz Hi-Fi Remote	Remote play の操作をします。 これらの機器に保存している音楽ファイルを再生することもできます。
DMS (Digital Media Server)	• パソコン • NAS (Network Attached Storage)	音楽ファイルを保存します。 DMC でこれらの機器に保存している音楽ファイルを再生操作します。
DMR (Digital Media Renderer)	• 本機	Remote play で再生した音楽ファイルをスピーカーから出力します。再生操作はできません。

■ 再生できるファイルについて

「パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する」(☞129 ページ)をご覧ください。

それぞれの機器に必要な設定

Remote play 再生をおこなうためには、DMC と DMS の設定が必要です。下記の設定をおこなう。なお、設定については各機器の取扱説明書をご覧ください。

■ パソコンや NAS の設定

パソコンや NAS が DMS 機器や DMR 機器とデータのやり取りができるように設定をします。

設定のしかたは、「メディアの共有設定をおこなう」(☞47 ページ)をご覧ください。

■ スマートフォンの設定

スマートフォンから DMS や本機(DMR)を操作するために、スマートフォンに DLNA の音楽再生のためのアプリをインストールする必要があります。これらの適応アプリはスマートフォンによって異なります。

- 一部のスマートフォンではお買い上げ時から DLNA 音楽再生に対応している機種もあります。スマートフォンの取扱説明書でご確認ください。

■ ポータブルオーディオプレーヤーの設定

ポータブルオーディオプレーヤーの音楽ファイルを本機(DMR)で再生すための設定をおこないます。設定のしかたは、各ポータブルオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

■ 本機の設定

DLNA ネットワークに接続します。それ以外の設定の必要はありません。

ネットワークの接続については、別冊の「かんたん設定ガイド」または「ホームネットワーク(LAN)に接続する」(☞31 ページ) 、「接続の設定」(☞101 ページ) をご覧ください。

■ Remote play の操作

操作のしかたは、それぞれの機器によって異なりますが、Remote play のための準備の手順は同じです。ここでは準備する手順を説明します。

1 本機の電源をオンにする。

- 本機がネットワークに接続できることを確認してください。

2 DMC の音楽ファイル再生画面を表示する。

- パソコンをご使用の場合は、Windows Media Player 12 などを開いてください。
- スマートフォンをご使用の場合は、音楽ファイルの再生モードに切り替えてください。

3 再生画面の再生機器を設定する項目で、本機のフレンドリ名を選ぶ。

- 本機のお買い上げ時のフレンドリ名は、“Marantz M-CR611”です。

4 DMC で音楽ファイルの再生をはじめる。

- 本機の入力ソースが自動的に“Music Server”に切り替わり、ディスプレイに を表示して Remote play をはじめます。

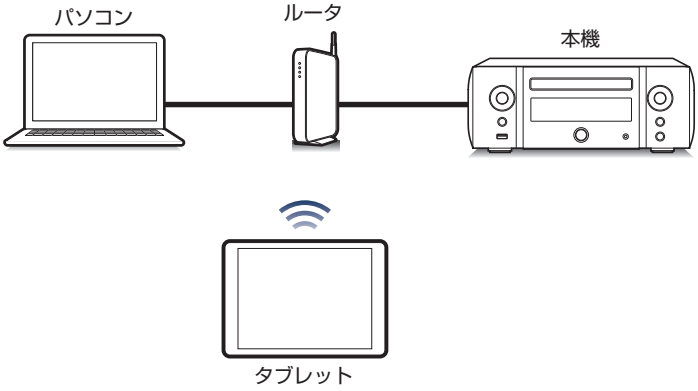
- Remote play 機能を解除するときは ◁ を押してください。

ご注意

- Remote play 中に本機での再生操作はできません。DMC 機器で操作してください。

ウェブコントロール機能

ブラウザに表示されるウェブコントロール画面を使用して、本機を操作できます。



- ウェブコントロール機能をご使用になるには、本機とパソコン、またはタブレットが同じネットワークに正しく接続されている必要があります。「ホームネットワーク(LAN)に接続する」(☞31 ページ)
- セキュリティソフトなどの設定により、パソコンから本機にアクセスできないことがあります。そのような場合には、セキュリティソフトの設定を変更してください。

ウェブコントロール機能で本機をコントロールする

1 設定メニューの“ネットワーク制御”の設定を“オン”にする。(☞99 ページ)

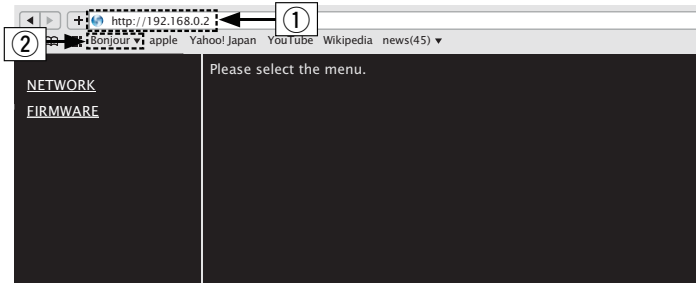
2 設定メニューの“ネットワーク情報”で、本機の IP アドレスを確認する。(☞99 ページ)

IP アドレスを確認する

3 ブラウザを起動する。

4 ブラウザのアドレスボックスに、本機の IP アドレスを入力する。

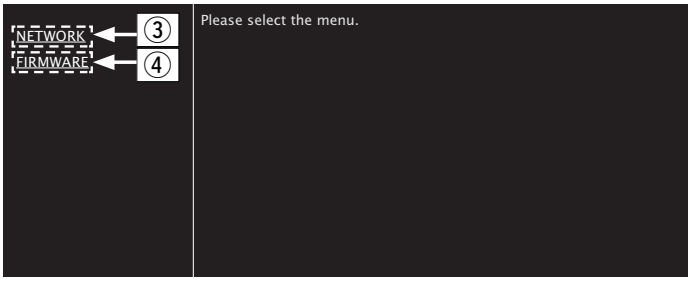
例えば、本機の IP アドレスが“192.168.0.2”の場合は、“http://192.168.0.2”と入力してください。



① IP アドレスを入力します。
② Safari ブラウザをご使用になる場合は、“Bonjour”を選択するとウェブコントロール画面に直接アクセスできます。

- ブラウザのブックマーク機能で本機の IP アドレスを登録しておくと、次回からブックマーク機能を使用してウェブコントロール画面を表示できます。ただし、DHCP サーバーをご使用の場合は、“ネットワーク制御”(☞99 ページ)の設定が“オフ”のときに電源をオン/オフすると、IP アドレスが変更になりますのでご注意ください。

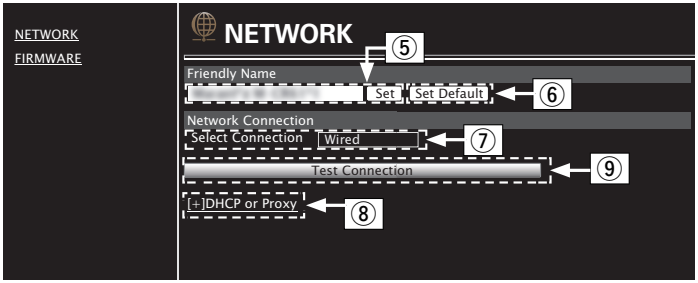
5 トップメニューが表示されたら、操作したいメニューをクリックする。



③ ネットワークの設定時にクリックします。(☞【例 1】)
④ ファームウェア更新時にクリックします。

6 操作する。

【例 1】ネットワーク設定 1



❑ フレンドリ名(Friendly Name)の設定

⑤ フレンドリ名を変更するときは、テキストボックスに新しいフレンドリ名を入力し、“Set”をクリックします。
⑥ フレンドリ名をリセットするときは、“Set Default”をクリックします。

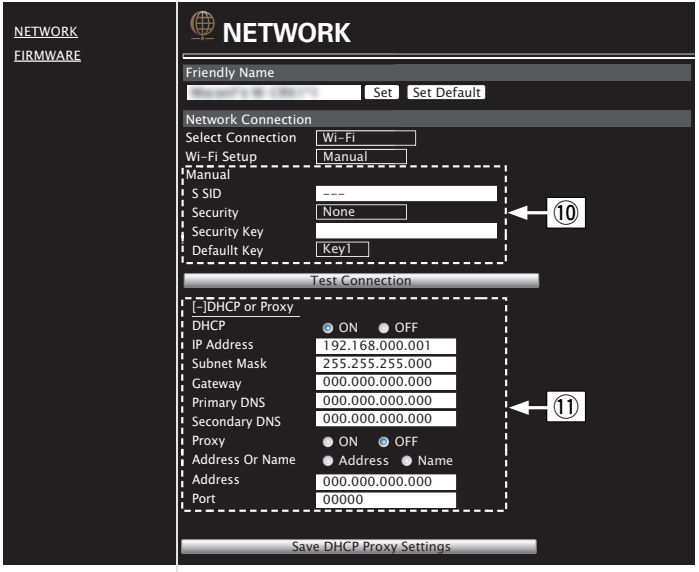
- 本機に表示できる文字のみ設定できます。(☞89 ページ)

❑ ネットワーク接続設定

⑦ 接続方法を選択するときにクリックします。“Wi-Fi”を選択すると新たな項目を画面に表示します。(☞【例 2】)
⑧ DHCP やプロキシを設定するときにクリックします。(☞【例 2】)
⑨ 設定を反映し接続を開始するときにクリックします。

7 操作する。

【例 2】ネットワーク設定 2



❑ ネットワーク接続設定

⑩【例 2】−⑦で“Wi-Fi”を選択したときに表示します。各項目を選択または入力した後、“Test Connection”をクリックして設定を反映してください。

- 選択項目や接続状態により表示される項目が変わります。
- 各項目を選択したあとは、表示が更新されるまでしばらくお待ちください。

⑪【例 2】−⑧で“DHCP”または“Proxy”を選択したときに表示します。DHCP やプロキシの設定を変更するときは、各項目を入力または選択してください。

- ネットワーク接続の設定を反映させるためには、最後に“Test Connection”をクリックしてください。

■ ウェブブラウザでのアップデート

あらかじめ同じネットワーク内にあるパソコンに「ウェブコントロール機能」(☞73 ページ)の設定をおこなってください。
アップデートファイルの入手方法は、当社の修理・サービス窓口にお問い合わせください。

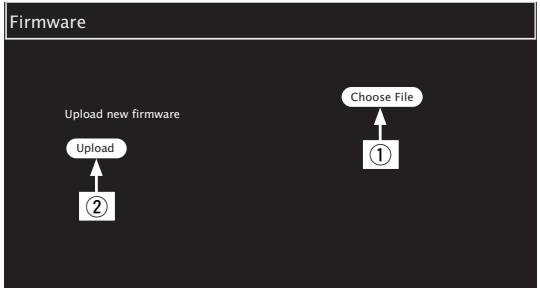
1 「ウェブコントロール機能」の手順5の④をクリックする。(☞73 ページ)

パソコンに次の画面を表示します。
この状態で約 1 分間待ちます。
または、本体に表示する IP アドレスをウェブブラウザに入力してアクセスします。

【 ウェブブラウザの表示 】

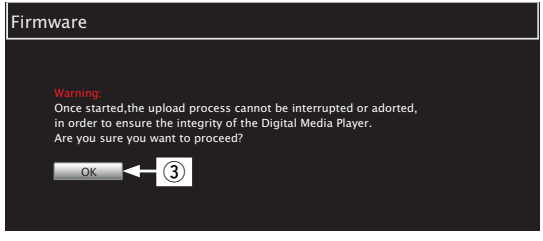
【 本機の表示 】

2 次の画面を表示後、“参照...”(①)をクリックし、アップデートファイルを選び、“Upload”(②)をクリックする。



3 “OK”をクリックします。

アップデートをはじめます。



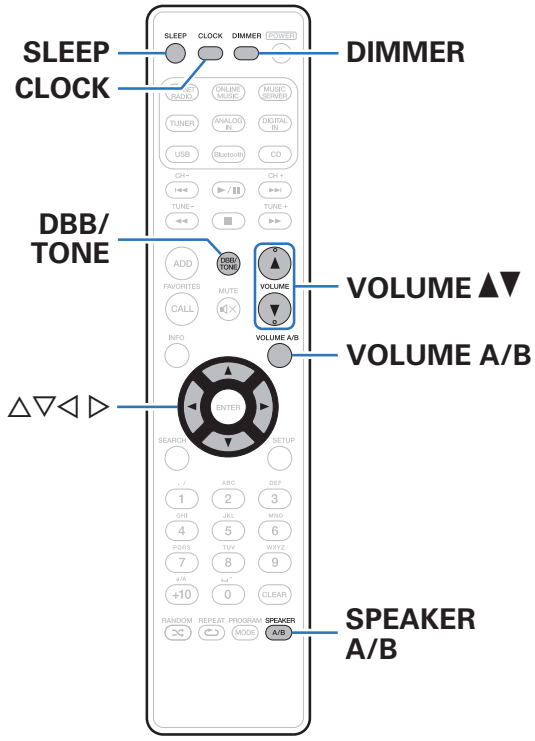
ご注意

- アップデート中は、本体の操作をしないでください。

4 次の画面が表示されたらアップデートは完了です。

- ボタン名はパソコン上で使用する OS の言語で異なる場合があります。

便利な機能



音質を調節する	80
スリープタイマーを設定する	81
現在の時刻を確認する	81
ディスプレイの明るさを切り替える	82
マルチドライブ接続をして 2 つの部屋で音楽を聴く	83

音質を調節する

1 **DBB/TONE を押して、調節する項目を選ぶ。**

2 **△▽ を押して、“Dynamic Bass Boost”、“低音”、“高音”、“バランス”または“ソースダイレクト”を調節する。**

❑ Dynamic Bass Boost

音量に応じて、段階的に低音域の音量を強調します（最大 +8dB）。

オン / オフ（お買い上げ時の設定：オフ）

❑ 低音

低音を調節します。

–10dB～+10dB（お買い上げ時の設定：0dB）

❑ 高音

高音を調節します。

–10dB～+10dB（お買い上げ時の設定：0dB）

❑ バランス

◁▷ を押して、左右の音量バランスを調節します。

❑ ソースダイレクト

“Dynamic Bass Boost”、“低音”、“高音”、“バランス”の調節をおこないません。

オン / オフ（お買い上げ時の設定：オフ）

- “ソースダイレクト”の設定が“オン”のときでも、“レスポンス”を“フラット”以外に設定できます。（☞94 ページ）

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動的に電源をスタンバイにすることができます。視聴しながらおやすみになるときに便利です。

1 再生中に SLEEP を押して、設定時間を選ぶ。

- ディスプレイの 表示が点灯します。
- 10 分～90 分の範囲で、10 分間隔で設定できます。

■ スリープタイマーを解除する

SLEEP を押して“Sleep ► オフ”を選ぶ。

ディスプレイの 表示が消灯します。

- 本機の電源がスタンバイになると、スリープタイマーの設定を解除します。
- スリープタイマーが動作するまでの残り時間を確認するときは、SLEEP を押してください。

現在の時刻を確認する

■ 電源オンのときに現在の時刻を確認する

CLOCK を押す。

- もう一度 CLOCK を押すと通常の表示に戻ります。

■ 電源がスタンバイ状態のときに現在の時刻を確認する

CLOCK を押す。

- 現在の時刻を約 30 秒間表示します。

- 電源がスタンバイ状態のときは、時刻設定ができません。電源を入れてからおこなってください。

ディスプレイの明るさを切り替える

1 **DIMMER を押す。**

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります(5 段階)。
- フロントパネルイルミネーションの明るさもディスプレイの明るさに合わせて切り替わります。

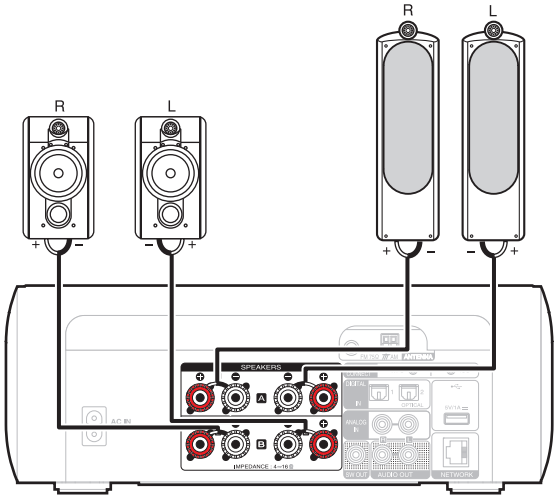
- ディスプレイが消灯しているときにボタン操作をおこなうと、輝度を落として一時的に情報を表示します。

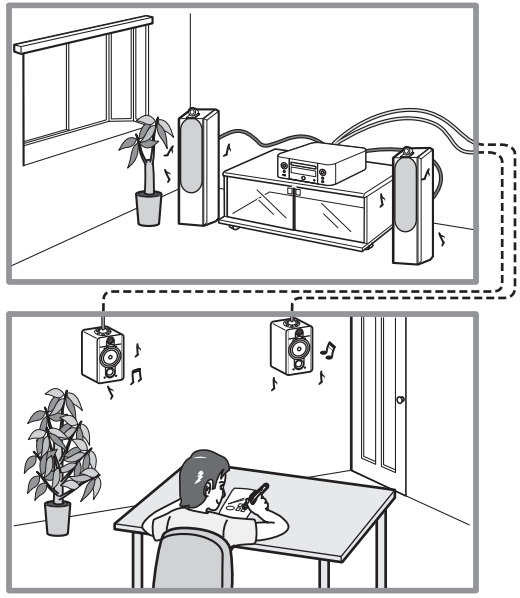
マルチドライブ接続をして２つの部屋で音楽を聴く

本機とスピーカーシステムを２組使用して別室で音楽を聴くことができます。

■ スピーカーケーブルを接続する

本機とご使用になるスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、＋(赤)、－(黒)をよく確認して、同じ極性を接続してください。





■ 音声を出力するスピーカーを選択する

スピーカー A またはスピーカー B から音声を出力させるか、スピーカー A、スピーカー B の両方から出力させるかを設定します。

1 SPEAKER A/B を押す。

現在の設定状態を表示します。

2 SPEAKER A/B を何回か押して設定を選ぶ。

スピーカーAが有効になりました： スピーカー A からのみ音声を出力します。
スピーカー B が有効になりました： スピーカー B からのみ音声を出力します。
スピーカー A と B とが有効になりました： スピーカー A と B の両方から音声を出力します。

- この接続をおこなう場合は、設定メニューの“バイアンプ”を“無効”に設定してください。(☞93 ページ)
- 音声を出力するスピーカーを“スピーカー A と B とが有効になりました”に設定し、お手持ちの外部機器を使って AirPlay や Remote Play をおこなう場合や iOS 機器を使って Bluetooth 操作をおこなう場合、外部機器や iOS 機器の音量表示はスピーカー A の音量に追従します。

■ スピーカーを指定して音量を調節する

2 組のスピーカー(スピーカー A/スピーカー B)を接続している場合、スピーカー A またはスピーカー B どちらかのスピーカーを指定して音量を調節することができます。

1 VOLUME A/B を押す。

本機のディスプレイに、音量調節するスピーカーを表示します。

2 VOLUME ▲▼ を押して、音量を調節する。

ご注意

- 音声出力するスピーカーの設定を“スピーカー A と B とが有効になりました”にしているときのみ有効です。

設定のしかた

メニュー一覧

メニューの操作をおこなうときは、参照ページをご覧ください。
本機はお買い上げ時の設定をおすすめの設定にしてあります。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズすることができます。

■ かんたん設定

設定項目	内 容	参照ページ
かんたん設定	ネットワークの各種設定をウィザード形式で表示します。 操作のしかたは、別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。	–

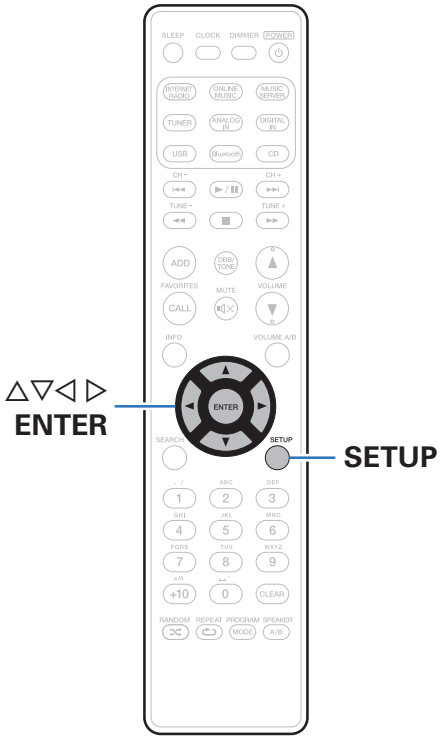
■ 一般

設定項目	内 容	参照ページ
アラーム	アラーム再生を設定します。	91
時計	現在の時刻を設定します。	92
時計モード	時計を常に表示します。	92
音量制限	音量の上限を設定します。	93
CD の自動再生	Disc 挿入時に自動再生をおこなうかどうかの設定をします。	93
スピーカー設定	ご使用になるスピーカーに合わせた、スピーカー出力の特性変更や設定をします。	93
バイアンプ	バイアンプ機能の設定をします。	93
レスポンス	スピーカー出力の周波数特性を切り替えます。	94
イルミネーション色	フロントパネルイルミネーションの色を変更/消灯します。	94
オーディオ出力	アナログ音声出力の音量を“固定出力”にするか、“可変出力”にするかを設定します。	95
言語	ディスプレイに表示する言語を選択します。	95
オートスタンバイ	未使用時に自動的にスタンバイにします。	95
使用状況の送信設定	お客様の使用状況の情報を当社へ送信するかしないかの設定をします。	96
ファームウェア	ファームウェアの最新アップデート情報の確認や更新の実施、およびアップデートとアップグレードの通知メッセージを表示するかしないかの設定をします。	96
アップデート	本機のファームウェアをアップデートします。	96
お知らせ機能	アップデート、アップグレードの通知メッセージやその他のお知らせを表示するかしないかの設定をします 。	97
新機能の追加	本機にダウンロード可能な新機能を表示し、アップグレードします。	97
リセット	お買い上げ時の設定に戻します。	98

■ ネットワーク

設定項目	内 容	参照ページ
ネットワーク情報	ネットワークの情報を表示します。	99
ネットワーク制御	電源がスタンバイ状態でのネットワーク機能の設定をします。	99
フレンドリ名	フレンドリ名は、ネットワーク上に表示される本機の名称で、お好みによって変更できます。	100
Wi-Fi	Wi-Fi 機能の有効/無効を設定します。	100
Bluetooth	Bluetooth 機能の有効/無効を設定します。	100
接続の設定	有線または無線 LAN の設定をします。	101
有線 LAN を設定	有線 LAN の設定をします。	101
DHCP(オン)または DHCP(オフ)	DHCP の設定をします。	101
IP アドレス *	IP アドレスの設定をします。	101
サブネットマスク *	サブネットマスクを入力します。	101
ゲートウェイ *	ゲートウェイの設定をします。	101
プライマリー DNS *	プライマリー DNS を入力します。	101
セカンダリー DNS *	セカンダリー DNS を入力します。	101
プロキシ	プロキシの設定をします。	102
接続を開始	有線 LAN へ接続します。	–
Wi-Fi の設定方法	無線 LAN の設定をします。	102
自動検索	Wi-Fi 接続をアクセスポイント一覧から選択し、設定します。	103
iOS 機器の Wi-Fi 設定を共有	iOS 製品を使って無線接続をおこないます。(iOS version 7 以降)	103
WPS (Wi-Fi Protected Setup)	Wi-Fi 接続を WPS 方式で設定します。	103
WEB ブラウザ設定	Wi-Fi 接続をウェブブラウザを使用して設定します。	104
手動設定	Wi-Fi 接続を手動で設定します。	106

* “DHCP”の設定が“オフ”のときに表示します。(☞101 ページ)



メニューの操作のしかた

1 **SETUP を押す。**
メニューを表示します。

2 **△▽◁▷ を押して設定または操作したいメニューを選び、ENTER を押す。**

3 **△▽ を押して、お好みの設定に変更する。**

4 **ENTER を押して、設定を確定する。**
- 前の項目に戻るときは、◁ を押してください。
- メニューを終了するときは、メニュー表示中に SETUP を押してください。
メニュー表示が消灯します。

文字入力

本機は、次の画面に表示する名前をお好みに合わせて変更できます。
- フレンドリ名 (☞100 ページ)
- ネットワーク機能に関する文字入力(☞43 ページ)

数字ボタンで入力する

1 文字の入力をおこなう画面を表示する。
- 文字を変更する場合は、◁▷ を押して変更したい文字にカーソルを合わせてください。

2 +10 を押して、文字の種類(大文字、小文字、数字)を切り替える。

3 入力したい文字が表示されるまで、0〜9、+10 を押す。
- 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

1 ./	1 . @ - _ / :	6 MNO	m n o M N O 6
2 ABC	a b c A B C 2	7 PQRS	p q r s P Q R S 7
3 DEF	d e f D E F 3	8 TUV	t u v T U V 8
4 GHI	g h i G H I 4	9 WXYZ	w x y z W X Y Z 9
5 JKL	j k l J K L 5	0 ␣	0(スペース)! “ # $ % & ‘ ( ) * + , ; < = > ? [\ ] ^ ` { | }

4 手順 2、3 をくり返して名前を変更し、ENTER を押して確定する。

カーソルボタンで入力する

1 **文字の入力をおこなう画面を表示する。**

- 文字を変更する場合は、◁▷ を押して変更したい文字にカーソルを合わせてください。

2 **△▽ を押して、文字を切り替える。**

- 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

【英小文字】	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
【英大文字】	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
【記号】	! “ # $ % & ‘ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ ` { | } ～
【数字】	0123456789 (空白)

3 **手順 2 をくり返して名前を変更し、ENTER を押して確定する。**

- 文字を削除するときは、CLEAR を押してください。
- スペースを入れるときは、►►I を押してください。

一般

その他の設定をします。

アラーム

アラームを 1 回のみ動作させるか、毎日動作させるかを設定します。

■ 一度きり

一度きりのアラーム:	アラームを 1 回のみ動作させます。
オフ:	アラームを動作させません。

■ 毎日

毎日:	アラームを毎日動作させます。
オフ:	アラームを動作させません。

■ アラームを編集

一度きりのアラーム、または毎日のアラームを編集します。

1 **△▽ を押してアラームモードを選び、ENTER を押す。**

2 **△▽ を押してアラーム開始時刻を設定し、ENTER を押す。**

3 **△▽ を押して入力ソースを選び、ENTER を押す。**

- “Bluetooth” を選択すると、前回接続した機器に接続を試みます。

4 **△▽ を押して音量の “00～60” を選び、ENTER を押す。**

“設定完了しました” を表示し、設定が完了します。

- 電源をスタンバイ状態にするとアラームスタンバイモードになり、電源表示がオレンジ色に点灯します。

時計

■ 現在の時刻の合わせかた

本機はインターネットを利用して自動的に現在時刻を合わせることができます。

- この機能をご使用になるときは、インターネットに接続する必要があります。

1 △▽ を押して、あなたの住んでいる地域の標準時刻を選び、ENTER を押す。

2 △▽ を押して夏時間を選び、ENTER を押す。

＊ 日本でお使いの場合、夏時間の設定は必要ありません。

オン:	夏時間をオンにします。
オフ （お買い上げ時の設定）:	夏時間をオフにします。

時計モード

時計を常に表示します。

オン:	時刻を表示します。POWER ⏻ ボタンを押すと時計表示と通常表示を切り替えます。
オフ （お買い上げ時の設定）:	時刻を表示しません。

ご注意

- “時計モード”を“オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。

音量制限

■ 音量の上限を設定する

音量制限し、安全にご利用できることに加え、AirPlay やアプリからの音量調節を適切な範囲内でおこないやすくなります。

30 / 45 / 60(最大) / その他（お買い上げ時の設定：30）

“その他”を選択した場合、16～60 の間で音量の上限を設定できます。△▽ で値を選択し、その後 ENTER を押して設定を確定します。

音量制限を設定しているときに、設定値まで音量を上げもう一度 VOLUME ▲ を押すと“大音量で楽しみますか？”が表示されます。このとき ENTER を押すと音量制限が解除されます。

CDの自動再生

CD トレイを閉じたときに CD を検知し、自動的に入力ソースを CD に切り替えて再生をはじめることができます。

オン（お買い上げ時の設定）:	自動再生します。
オフ:	自動再生しません。

スピーカー設定

ご使用になるスピーカーに合わせた、スピーカー出力の特性変更や設定をします。

■ バイアンプ

スピーカー A/B 端子を使用して、バイアンプ駆動対応スピーカーからの音声出力が可能です。

有効：	バイアンプ機能を有効にします。
無効（お買い上げ時の設定）:	バイアンプ機能を無効にします。スピーカー A とスピーカー B の切り替えが可能です。

■ レスポンス

スピーカー出力の周波数特性を切り替えます。

フラット （お買い上げ時の設定）:	フラットな特性です。
レスポンス 1 :	40Hz 以下を-12dB/oct で低域をカットします。
レスポンス 2 :	60Hz 以下を-12dB/oct で低域をカットします。
レスポンス 3 :	80Hz 以下を-12dB/oct で低域をカットします。
レスポンス 4 :	100Hz 以下を-12dB/oct で低域をカットします。

- “レスポンス”の設定は、ヘッドホン出力やオーディオ出力、サブウーハー出力には反映されません。

イルミネーション色

フロントパネルイルミネーションの色を変更/消灯します。

ホワイト / ブルー / グリーン / オレンジ / オフ（お買い上げ時の設定：ブルー）

オーディオ出力

アナログ音声出力の音量を“固定出力”にするか、“可変出力”にするかを設定します。

固定出力	アナログ音声出力の音量を固定にします。
可変出力 (お買い上げ時の設定):	リモコンの VOLUME ▲▼ ボタンを押してアナログ音声出力の音量調節ができます。アナログ音声出力の音量は、スピーカー A の音量に連動します。

- “可変出力”設定時、アナログ音声出力の音量はスピーカー A の音量に連動します。スピーカー B の音量を調節しても、アナログ音声出力の音量は調節できません。(☞84 ページ)

ご注意

- アナログ音声出力の設定を“可変出力”から“固定出力”に変更すると、音量は最大になりますのでご注意ください。
- 設定変更時は、オーディオ出力端子に接続しているアンプの音量や本機のヘッドホン音量を最小にしてください。

言語

ディスプレイに表示する言語を選択します。

日本語 / English(お買い上げ時の設定:日本語)

オートスタンバイ

“オートスタンバイ”を“オン”に設定し、停止状態で設定した時間内に操作しない状態が続くと、本機は自動的にスタンバイ状態になります。

入力ソースが“Tuner”および“From iPod”の場合は、本機を約 8 時間操作しない状態が続くと本機は自動的にスタンバイ状態になります。

1 分 / 5 分 / 15 分 / その他:	“その他”を選択した場合、1～99 分の間で“オートスタンバイ”の時間を設定できます。△▽ で値を選択し、その後 ENTER を押して設定を確定します。
オフ (お買い上げ時の設定):	自動的にスタンバイ状態になりません。

使用状況の送信設定

当社は今後の製品の改善のために、本機の設定状況や機能の使用状況に関する情報の送信をお願いしております。お客様から送信される情報は今後の製品開発の参考にさせていただきます。

送信される情報は個人を特定する情報は含まれません。この情報は、当社の製品改善の目的のためにのみ利用させていただき、第三者へ提供することは決して致しません。

はい:	本機の使用状況を情報提供します。
いいえ:	本機の使用状況を情報提供しません。

ファームウェア

ファームウェアの最新アップデート情報の確認や更新の実施、およびアップデート、アップグレードやお知らせの通知メッセージを表示するかしないかの設定をします。

■ アップデート

本機のファームウェアをアップデートします。

アップデートの確認:	ファームウェアが最新かどうかの確認ができます。
アップデート開始:	アップデートを実行します。

- アップデートに失敗しても、本機は自動的にアップデートを再試行します。

■ お知らせ機能

最新のファームウェアが利用可能であるときや、その他のお知らせがある場合に、電源オン時に画面に表示します。

アップデート

オン （お買い上げ時の設定）:	アップデートの通知を表示します。
オフ:	アップデートの通知を表示しません。

アップグレード

オン （お買い上げ時の設定）:	アップグレードの通知を表示します。
オフ:	アップグレードの通知を表示しません。

その他のお知らせ

オン （お買い上げ時の設定）:	当社からのお知らせを表示します。
オフ:	当社からのお知らせを表示しません。

■ 新機能の追加

本機にダウンロード可能な新機能を表示し、アップグレードします。

アップグレードパッケージ:	アップグレードする項目を表示します。
アップグレード状態:	アップグレードによって追加された機能の一覧を表示します。
アップグレード開始:	アップグレードを実行します。アップグレードを開始すると、メニュー画面をシャットダウンします。アップグレード中は、ディスプレイに経過時間を表示します。
アップグレード ID:	お手続きの際に必要なる ID 番号を表示します。

- アップグレードをご利用になる場合の詳細については、当社ホームページをご覧ください。
- お手続きが完了すると、このメニューに“登録済”と表示され、アップグレードすることができます。お手続きされていない場合は、“未登録”を表示します。

“アップデート”および“新機能の追加”をおこなったときのご注意

- これらの機能を使用するためには、インターネットブロードバンドに接続できる環境と設定が必要です。(☞31 ページ)
- 新機能の追加の操作は本機の電源をオンにして 2 分以上経過してからおこなってください。
- アップデートやアップグレードが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。
- アップデートやアップグレードが完了するまでに、ブロードバンド接続でも 20 分程度の時間がかかります。
- 一旦アップデートやアップグレードを開始すると、本機は完了するまで通常の操作ができなくなります。本機に設定したパラメーターなどのバックアップデータを初期化する場合があります。
- アップグレードが失敗した場合には、“Update failed”や“Download failed”などをディスプレイに表示します。電源コードを挿し直してください。ディスプレイに“再アップデート中”を表示し、失敗したところから更新を再開します。それでも失敗が続く場合は、ネットワークの環境を確認してください。

- “アップデート”および“新機能の追加”に関する情報は、当社ホームページなどで告知する予定です。

リセット

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。各種設定内容がお買い上げ時の設定になります。再度設定をおこなってください。

中止する:	初期化しません。
お買い上げ時の設定に戻す:	初期化します。

ネットワーク

本機をホームネットワーク(LAN)に接続して使用できるようにするためには、ネットワークの設定をおこなう必要があります。DHCPでホームネットワークを構築している場合は、“DHCP”をオンに設定します(お買い上げ時の設定のまま使用してください)。これにより、ホームネットワークを使用できるようになります。
各機器にIPアドレスを割り当てている場合は、“IPアドレス”の設定で本機にIPアドレスを割り当て、ゲートウェイアドレスやサブネットマスクなど、ご使用のホームネットワークに関する情報を入力する必要があります。

ネットワーク情報

ネットワークの情報を表示します。

フレンドリ名 / DHCP オンまたは**オフ / IP アドレス / MAC アドレス / SSID***

* Wi-Fi 接続しているときのみ表示します。

ネットワーク制御

電源がスタンバイ状態でのネットワーク機能の設定をします。

オン (お買い上げ時の設定):	スタンバイ時にネットワーク機能を使用できます。ネットワーク対応のコントローラーを使用して本機を操作できます。
オフ:	スタンバイ時はネットワーク機能を使用できません。

- ウェブコントロール機能、ネットワーク対応のコントローラーをご使用になる場合やBluetooth/NFCを電源がオフの状態からすばやく使いたい場合は、“ネットワーク制御”の設定を“オン”にしてください。

ご注意

- “ネットワーク制御”を“オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。

フレンドリ名

フレンドリ名とは、ネットワーク上に表示される本機の名称です。フレンドリ名はお好みで変更できます。

■ フレンドリ名の選択

リストからフレンドリ名を選択します。

現在のフレンドリ名 / AV Room / Bedroom / Dining Room / Family Room / Guest Room / Kids Room / Kitchen / Living Room / Office / Marantz M-CR611 / その他（お買い上げ時の設定：Marantz M-CR611）

- “その他”を選択すると、お好みのフレンドリ名に変更できます。

- 最大 63 文字まで入力できます。
- 文字の入力方法については、(☞89 ページ)をご覧ください。

Wi-Fi

本機を有線 LAN を使用してネットワークに接続する場合に、Wi-Fi 機能を停止できます。

オン（お買い上げ時の設定）:	Wi-Fi 機能を使用します。
オフ:	Wi-Fi 機能を停止します。

Bluetooth

Bluetooth 機能を停止できます。

オン（お買い上げ時の設定）:	Bluetooth 機能を使用します。
オフ:	Bluetooth 機能を停止します。

接続の設定

ネットワークの詳細設定をおこないます。
ネットワーク環境を変更する場合は、“かんたん設定”をおこなってください。(操作方法については、別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。)

- ブロードバンドルータ(DHCP 機能)をご使用の場合は、本機のお買い上げ時の設定で DHCP 機能が“オン”になっていますので、“IP アドレス”と“プロキシ”の設定は必要ありません。
- “接続の設定”は、DHCP 機能のないネットワークに接続する場合のみ設定してください。

■ 有線 LAN を設定

❑ DHCP

ネットワークへの接続方法を選択します。

オン (お買い上げ時の設定):	ご使用のルータから自動的にネットワーク設定をおこないます。
オフ:	手動でネットワークの設定をします。

❑ IP アドレス

入力する IP アドレスは下記の範囲で設定してください。

- 下記以外の IP アドレスではネットワークオーディオ機能を使用することはできません。
  CLASS A: 10.0.0.1～10.255.255.254
  CLASS B: 172.16.0.1～172.31.255.254
  CLASS C: 192.168.0.1～192.168.255.254

❑ サブネットマスク

xDSL モデムやターミナルアダプターを直接本機に接続している場合は、プロバイダから書面などで通知されたサブネットマスクを入力します。通常は 255.255.255.0 を入力します。

❑ ゲートウェイ

ゲートウェイ(ルータ)に接続している場合は、その IP アドレスを入力します。

❑ プライマリー DNS、セカンダリー DNS

プロバイダから書面などで通知された DNS アドレスが 1 つの場合は、“プライマリー DNS”に入力してください。2 つ以上の場合は、1 つを“セカンダリー DNS”に入力してください。

❑ プロキシ

インターネットにプロキシサーバーを経由して接続する場合に設定します。
プロキシの設定は、契約しているプロバイダや社内のネットワークなどプロキシサーバーを経由してインターネットに接続している場合のみおこなってください。

プロキシ(オフ)または**プロキシ(オン)**:	プロキシサーバーを設定します。
プロキシ(アドレス)または**プロキシ(ネーム)**:	アドレスかドメイン名で入力するときに選択します。
アドレスまたは**ネーム**:	アドレスかドメイン名を入力します。最大38 文字まで入力できます。
ポート:	ポート番号を入力します。

- インターネットに接続できない場合は、再度接続や設定を確認してください。(☞31 ページ)
- インターネットの接続についてわからない場合は、ISP(インターネット・サービスプロバイダ)またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

■ Wi-Fi の設定方法

ここでは、次の 5 つの接続方法で Wi-Fi の設定ができます。

自動検索 /iOS 機器の Wi-Fi 設定を共有 / WPS (Wi-Fi Protected Setup) / WEB ブラウザ設定 / 手動設定

- LAN ケーブルを接続している場合は、LAN ケーブルを外してください。
- リアパネルの Wi-Fi CONNECT ボタンを使用した接続方法については、別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。

❑ 自動検索

ネットワークを自動検索します。

1 **リストから、接続したいネットワークを選ぶ。**

- 見つからない場合は“再検索する”を選択してください。

2 **下記の設定をおこなう。**

WEP 固定値 Key:	デフォルトキーを選択します。 • “WEP 固定値 Key”は、WEP で暗号化されているネットワークに接続する場合に表示します。
パスワード:	パスワードを入力します。
DHCP/プロキシ:	DHCP やプロキシの設定をします。 (「DHCP」(☞101 ページ)、「プロキシ」(☞102 ページ))
接続を開始:	接続のテストをおこないます。

❑ iOS 機器の Wi-Fi 設定を共有

iPhone や iPad 等の iOS 機器を使い Wi-Fi 設定をおこなうことができます。
この項目を選択後、iOS 機器のホーム画面から設定/Wi-Fi を選択し、画面下に表示される“Marantz M-CR611”を選択したあ
と、iOS 機器の表示にしたがって設定をおこなってください。
詳しくは「かんたん設定ガイド」を参照ください。

- iOS の version が 7 以降である必要があります。

❑ WPS (Wi-Fi Protected Setup)

1 **本機の PIN コードをルータに登録する。**

❑ WEB ブラウザ設定

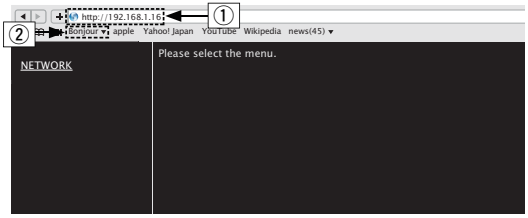
ウェブブラウザを使用して Wi-Fi 設定をおこないます。
ウェブの閲覧が可能な Wi-Fi 機器が必要です。

1 **画面に表示される注意文を確認し、ENTER を押す。**

2 **Wi-Fi 機器の Wi-Fi ネットワーク一覧から、“Marantz M-CR611” を選ぶ。**

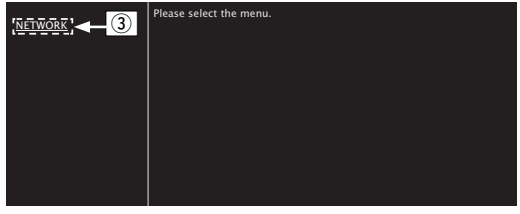
本機に IP アドレス(192.168.1.16)を表示します。

3 **ブラウザのアドレスボックスに、本機の IP アドレスを入力する。**



① IP アドレス(192.168.1.16)を入力します。
② Safari ブラウザをご使用になる場合は、“Bonjour” を選択するとウェブコントロール画面に直接アクセスできます。

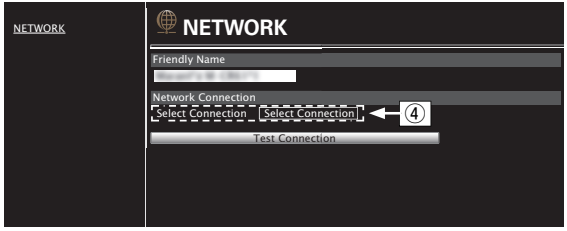
4 **トップメニューが表示されたら、“NETWORK” をクリックする。**



③ “NETWORK” をクリックします。(☞**【例 1】**)

5 操作する。

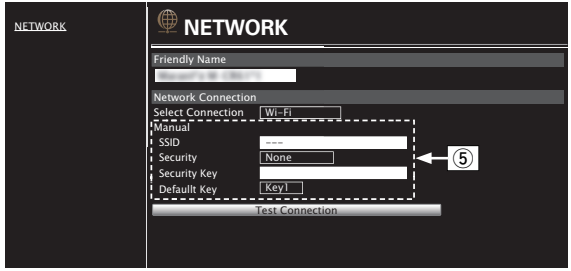
【例 1】ネットワーク設定 1



❑ ネットワーク接続設定

④ 接続方法を選択するときにクリックします。“Wi-Fi” を選択すると新たな項目を画面に表示します。（☞【例 2】）

【例 2】ネットワーク設定 2



❑ ネットワーク接続設定

⑤【例 2】−④ で “Wi-Fi” を選択したときに表示します。各項目を選択または入力した後、“Test Connection” をクリックして設定を反映してください。

- 選択項目や接続状態により表示される項目が変わります。
- 各項目を選択したあとは、表示が更新されるまでしばらくお待ちください。

- ネットワーク接続の設定を反映させるためには、最後に “Test Connection” をクリックしてください。

❑ 手動設定

ネットワークを手動で接続します。

SSID：	無線ネットワーク名(SSID)を入力します。
セキュリティ:	ご使用のアクセスポイントの暗号化設定に合わせて、暗号化方式を選択します。
WEP 固定値 Key:	WEP 固定値 Key を選択します。 • “WEP 固定値 Key”は、“WEP”で暗号化されているネットワークに接続する場合に表示します。
パスワード:	パスワードを入力します。
DHCP/プロキシ:	DHCP やプロキシの設定をします。(「DHCP」(☞101 ページ)、「プロキシ」(☞102 ページ))
接続を開始:	接続のテストをおこないます。

困ったときは

■ 目次

上手な使いかた/こんなときの解決方法

電源オフ状態から簡単に操作する 108
iPod や USB メモリーを簡単に操作したい 108
iPod の充電だけをしたい 108
アラーム機能で iPod の曲を指定する 108
アラーム機能で好きな曲を指定する 108
ネットワーク環境の切り替えや再設定をする 109
AirPlay やアプリ操作時の音量調整が難しく、音が急に大きくなりすぎる 109
スピーカーを替えた場合に、最適なリスニング環境に設定したい 109

故障かな？と思ったら

電源が入らない/電源が切れる 110
LED が点滅している 110
リモコンで操作ができない 111
本機のディスプレイが表示されない 111
音がまったく出ない 112
希望する音が出ない 113
音が途切れたり、ノイズが入ったりする 114
ディスクが再生できない 115
iPod が再生できない 116
USB メモリーが再生できない 117
Bluetooth 機器の再生ができない 118
iPod や USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない 119
インターネットラジオが再生できない 120
パソコン内や NAS 内の音楽ファイルが再生できない 121
Wi-Fi 接続ができない 122

上手な使いかた/こんなときの解決方法

電源オフ状態から簡単に操作する

- 入力ソース選択ボタン、►/❚❚ ボタン、FAVORITES CALL ボタンまたは ▲ ボタンを押すと、起動と同時に各動作をおこないます。(「基本操作」(☞36 ページ)、「CD の再生」(☞38 ページ)、「お気に入り機能」(☞52 ページ))
- “ネットワーク制御”の設定を“オン”にすると、AirPlay や“Marantz Hi-Fi Remote”から起動と同時に再生操作ができます。(☞99 ページ)

iPod や USB メモリーを簡単に操作したい

- フロントの USB 端子に接続すると自動的に入力ソースが切り替わり、再生をはじめます。(「iPod の音楽を聴く」(☞55 ページ)、「USB メモリーに保存されているファイルを再生する」(☞59 ページ))

iPod の充電だけをしたい。

- 本機の電源を入れて、iPod を接続してください。その後電源が切れても満充電になるまで iPod の充電をおこないます。(☞57 ページ)
- リアの USB 端子に接続すると現在の入力ソースのまま、iPod の充電をおこないます。

アラーム機能で iPod の曲を指定する

- iPod と本機を USB 接続したあと MODE ボタンを押し、“On-Display”モードでお好みの曲をお気に入りに登録してください。(☞52 ページ)そして、お気に入りに登録した曲にアラーム設定をしてください。(☞91 ページ)
- iPod touch や iPhone のアラーム再生をおこなうときは、iPod touch または iPhone をスリープ状態にしてください。電源操作によって電源オフにするとアラーム再生ができません。

アラーム機能で好きな曲を指定する

- NAS などに好きな曲を登録後、お気に入りに登録してからアラーム設定で指定してください。(☞91 ページ)

ネットワーク環境の切り替えや再設定をする

- 別冊の「かんたん設定ガイド」を用意し、設定メニューの“かんたん設定”をおこなってください。詳細な設定は、設定メニューの“ネットワーク” - “接続の設定”をおこなってください。(☞101 ページ)

AirPlay やアプリ操作時の音量調整が難しく、音が急に大きくなりすぎる

- “音量の制限”の設定値を小さく(20～30 程度)することで、AirPlay やアプリからの音量設定が適切な範囲内で調節しやすくなります。(☞93 ページ)

スピーカーを替えた場合に、最適なリスニング環境に設定したい

- 設定メニューの“一般” – “スピーカー設定”で“レスポンス”の設定をしてください。(☞93 ページ)

故障かな？と思ったら

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様ご相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

■ 電源が入らない/電源が切れる

症状	原因 / 対策	関連ページ
電源が入らない。	• コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	34
電源が自動的に切れる。	• スリープタイマーが設定されています。再度電源を入れてください。	81
	• オートスタンバイが設定されています。操作がない状態で一定時間が経過すると、“オートスタンバイ”が動作します。“オートスタンバイ”を無効にするには、設定メニューの“オートスタンバイ”を“オフ”に設定してください。	95

■ LED が点滅している

症状	原因 / 対策	関連ページ
赤色に点滅している。	• 本機のアンプ回路が故障しています。電源を切り、当社の修理相談窓口までご連絡ください。	−
	• 電源が一度切れたことなどにより時刻がずれています。ネットワーク接続を確認して時刻を設定してください。	92

■ リモコンで操作ができない

症状	原因 / 対策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	• 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。	8
	• リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。	8
	• 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。	−
	• 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。	8
	• 本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバーター式蛍光灯の光など）があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。	−
	• 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間（テレビや 3D 視聴用メガネなど）の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。	−

■ 本機のディスプレイが表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ディスプレイの表示が消える。	• リモコンの DIMMER ボタンを押して消灯以外の設定にしてください。	82

■ 音がまったく出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
スピーカーから音が出ない。	• すべての機器の接続を確認してください。	20
	• 接続ケーブルを奥まで挿してください。	–
	• 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。	–
	• ケーブルが破損していないか確認してください。	–
	• スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。ケーブルの芯線がスピーカー端子の金属部に接触していることを確認してください。また、スピーカー端子をしっかり締めてください。また、スピーカー端子の締め付けがゆるんでいないか確認してください。	20
	• 適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。	36
	• 音量を適切な大きさに調節してください。	37
	• ミューティング(消音)モードを解除してください。	37
	• 外部機器から本機に音声を入力している場合、適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。	66
	• 接続した機器のデジタル音声出力の設定を確認してください。機器によってはお買い上げ時の設定が“オフ”になっていることがあります。	66
	• 本機のデジタル入力端子で再生できるデジタル音声信号は、2 チャンネルリニア PCM のみです。	66
	• スピーカー A またはスピーカー B のみが選択されている場合があります。スピーカーが正しく接続されていることを確認後、SPEAKER A/B ボタンを押して確認してください。	83
	• 本体のヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを挿入していると、スピーカー端子から音が出なくなります。	13

■ 希望する音が出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
左右の音量バランスが悪い。	• リモコンの DBB/TONE ボタンを押して“バランス”の調節をおこなってください。	80
サブウーハーから音が出ない。	• サブウーハーの接続を確認してください。	21
	• サブウーハーの電源を入れてください。	–
“Dynamic Bass Boost”、“低音”および“高音”の設定が反映されない。	• “Dynamic Bass Boost”、“低音”および“高音”の設定は、サブウーハー出力には反映されません。	80

■ 音が途切れたり、ノイズが入ったりする

症状	原因 / 対策	関連ページ
インターネットラジオや USB メモリーを再生中に、音が途切れることがある。	• USB メモリーの転送速度が遅いと音が途切れることがあります。	−
	• ネットワークの通信速度が遅いか、ラジオ局が混雑しています。	−
iPhone で通話すると、本機の音声出力にノイズが入る。	• iPhone を本機から 20cm 以上離して通話してください。	−
FM/AM 放送で雑音が多い。	• アンテナの向きや位置を変えてください。	29
	• 屋外アンテナを使用してください。	29
	• AM 用ループアンテナと本機を離してください。	29
	• アンテナと他の接続ケーブルを離してください。	29
Wi-Fi 接続時に音切れがする。	• 周りの電波妨害により再生が途切れたりした場合には、有線 LAN 接続に切り替えてください。	31
	• 特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、ご使用の無線 LAN の環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線 LAN 接続をおこなってください。	101

■ ディスクが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
►/❚❚ ボタンを押しても再生しない。ディスクの特定の場所が正しく再生できない。	• ディスクが汚れたり、傷が付いたりしています。ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	131
CD-R/CD-RW が再生できない。	• ファイナライズをしていないディスクは再生できません。ファイナライズしたディスクをご使用ください。	131
	• 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。	−
	• 本機のデータ CD 再生機能は MP3、WMA ファイルのみに対応しています。	125
“非対応です”と表示される。	• 再生できないディスクを入れた場合には、“非対応です”を表示します。	131
“Disc がありません”と表示される。	• ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“Disc がありません”を表示します。	131

■ iPod が再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
iPod が接続できない。	• USB 端子に iPod を接続して使用する場合、対応していない iPod があります。	28
	• iPod の接続に純正以外の USB ケーブルを使用すると、iPod を認識できない場合があります。純正の USB ケーブルを使用してください。	−
iTunes/iPhone/iPod touch/iPad 上に AirPlay のアイコンが表示されない。	• 本機とパソコン/iPhone/iPod touch/iPad が同一のネットワーク(LAN)に接続されていません。本機と同一の LAN に接続してください。	31
	• iTunes/iPhone/iPod touch/iPad が AirPlay 対応のファームウェアではありません。最新のファームウェアにアップデートしてください。	−
音が出ない。	• iTunes/iPhone/iPod touch/iPad の音量が最小になっています。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad の音量と本機の音量は連動しています。適切な値に設定してください。	−
	• AirPlay の再生をしていないか、本機が選択されていません。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad の画面で AirPlay アイコンをクリックして、本機を選択してください。	67
iPhone/iPod touch/iPad で AirPlay 再生時に音が途切れる。	• iPhone/iPod touch/iPad のバックグラウンドで起動しているアプリケーションを終了してから AirPlay 再生をしてください。	−
	• Wi-Fi 接続で外部の影響を受けている可能性があります。無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くするなどネットワーク環境を変更してください。	−

■ USB メモリーが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
“接続していません”と表示される。	• 接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない場合があります。USB メモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。	27
	• マスストレージクラスまたは MTP 対応の USB メモリーに対応しています。	−
	• 本機は、USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは USB 端子に直接接続してください。	−
	• USB メモリーのフォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。	−
	• すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクを使用する場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続して使用してください。	−
USB メモリー内のファイルを表示しない。	• 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。	58
	• 本機が、表示できるファイル構成は最大 8 階層、1 フォルダあたりのサブフォルダとファイルの合計は最大 5000 個です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。	−
	• USB メモリーに複数のパーティーションがある場合、先頭のパーティーションのファイルのみを表示します。	−
USB メモリーのファイルを再生できない。	• 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。	58
	• 著作権が保護されたファイルを再生しようとしています。本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。	−

■ Bluetooth が再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
本機に Bluetooth 機器が接続できない。	• Bluetooth 機器の Bluetooth 機能が有効になっていません。Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧いただき、Bluetooth 機能を有効にしてください。	−
	• 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。	−
	• Bluetooth 機器が A2DP プロファイルに対応していない場合、本機と接続できません。	−
	• ご使用の Bluetooth 機器の電源を入れ直してから、お試しください。	−
	• “ネットワーク制御”を“オン”にして再度接続をおこなってください。	99
NFC で接続できない。	• 各 Bluetooth 機器の NFC 設定を確認してください。	−
	• 各 Bluetooth 機器のロック機能を解除してください。	−
	• 各 Bluetooth 機器の NFC の位置を確認し、本機の N に NFC を近づけてください。	65
	• “ネットワーク制御”を“オン”にして再度接続をおこなってください。	99
音が途切れる。	• 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。	−
	• 本機と Bluetooth 機器の間にある障害物を取り除いてください。	−
	• 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。	−
	• Bluetooth の再接続操作をおこなってください。	−

■ iPod や USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ファイル名が“…”など、正しく表示されない。	• 表示できない文字が使われています。故障ではありません。本機で表示できない文字は、“.（ピリオド）”に置き換えて表示します。	―

■ インターネットラジオが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ラジオ局のリストが表示されない。	• LAN ケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断されています。接続状態を確認してください。	31
インターネットラジオが再生できない。	• 選択したラジオ局が、本機に対応していないフォーマットで放送されています。本機で再生できるフォーマットは、MP3、WMA と AAC です。	128
	• ルータのファイアウォールがはたらいています。ファイアウォールの設定を確認してください。	−
	• IP アドレスが正しく設定されていません。	101
	• ルータの電源が入っているか確認してください。	−
	• IP アドレスを自動で取得する場合は、ルータの DHCP サーバ機能を有効にしてください。また、本機の DHCP 設定を“オン”にしてください。	101
	• IP アドレスを手動で取得する場合は、本機の IP アドレス、プロキシを設定してください。	101
	• 時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合、音声は出力しません。しばらく経ってから選択するか、別のラジオ局を選択してください。	43
お気に入りに登録したラジオ局に接続できない。	• ラジオ局がサービスを停止しています。放送中のラジオ局を登録してください。	−
“接続が途切れました”と表示され、接続できないラジオ局がある。	• ラジオ局が放送を停止しています。放送中のラジオ局を選択してください。	−

■ パソコン内やNAS内の音楽ファイルが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。	• ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されています。対応しているフォーマットで記録してください。	129
	• 著作権が保護されたファイルを再生しようとしています。本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。	−
	• 本機のUSB端子は、パソコンと接続することはできません。	−
	• メディアの共有設定が正しくありません。本機がパソコンのフォルダにアクセスできるようにメディアの共有設定を変更してください。	47
サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。	• パソコンまたはルータのファイアウォールがはたらいています。接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。	−
	• パソコンの電源が入っていません。電源を入れてください。	−
	• サーバーが起動していません。サーバーを起動してください。	−
	• 本機のIPアドレスが正しくありません。本機のIPアドレスを確認してください。	99
パソコン内の音楽ファイルが再生できない。	• 本機のUSB端子にパソコンを接続しても、パソコン内の音楽ファイルは再生できません。パソコンはネットワーク経由で本機に接続してください。	31
パソコン内やNAS内のファイルが表示されない。	• 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。	129
NASに保存した曲が再生できない。	• DLNA準拠のNASをご使用の場合は、NASの設定でDLNAサーバー機能を有効にしてください。	−
	• DLNAに準拠していないNASをご使用の場合は、パソコンを経由して再生してください。Windows Media Playerのメディア共有機能設定をおこない、再生対象フォルダにNASを追加してください。	47
	• 接続を制限している場合は、オーディオ機器を接続対象にしてください。	−

■ Wi-Fi 接続ができない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ネットワークに接続できない。	• ネットワーク名およびパスワード(WEP など)の設定が正しくない。ネットワークの設定と、本機の設定内容を合わせてください。	105
	• 無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くしたり、障害物をなくしたりして、見通しを良くしてから接続し直してください。また、電子レンジや他のネットワークのアクセスポイントから離して設置してください。	−
	• ルータの電源を確認してください。	−
	• 本機は IEEE 802.11b/g/n に対応しています。	−
	• アクセスポイントのチャンネル設定を、他のネットワークで使用しているチャンネルから離して設定してください。	−
	• 本機は WEP(TSN)との互換性はありません。	−
WPS 接続ができない。	• ルータの WPS モードが動作しているか確認してください。	−
	• ルータの操作後、2 分以内に本機の Wi-Fi CONNECT/WPS ボタンを約3秒間長押ししてください。	−
	• WPS2.0 規格に対応したルータ/設定が必要です。暗号化タイプを“なし”、“WPA-PSK(AES)”または“WPA2-PSK(AES)”に設定してください。	101
	• ルータの暗号化方式が WEP/WPA-TKIP/WPA2-TKIP のいずれかの場合は、Wi-Fi CONNECT/WPS ボタンを使用して接続することはできません。この場合は“自動検索”または“手動設定”の方法で接続してください。	106
iPhone/iPod touch/iPad を使用したネットワーク接続ができない。	• iPhone/iPod touch/iPad を最新のファームウェアにアップデートしてください。	−
	• USB ケーブルを使用して設定する場合は、iOS 機器のファームウェアのバージョンが iOS 5 以降に対応している必要があります。また、無線接続で設定する場合は、iOS 7 以降に対応している必要があります。	−

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
  保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入日から 1 年間です。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料‥‥故障した製品を正常に修復するための料金です。
  技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代‥‥修理に使用した部品代金です。
  その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料‥‥製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
  別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 持ち込み修理対象製品の出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名・・・・・取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号・・・保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

データ CD を再生する

■ データ CD のフォーマットについて

本機では、次のフォーマットで作成した CD-R または CD-RW を再生できます。

ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル 1
他のフォーマットで記録している場合は、正しく再生できないことがあります。

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

フォルダ数とファイル数の合計：512 個
最大フォルダ数：256 個

ファイル形式

MPEG-1 Audio Layer-3
WMA（Windows Media Audio）

タグ情報

ID3 タグ（Ver.1.x と 2.x）
META タグ（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48kHz	32～320kbps	.mp3
WMA	32/44.1/48kHz	64～192kbps	.wma

- ファイルには必ず拡張子 ".MP3" ".WMA" を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- Mac の OS X で作成したファイルの中で、ファイル名の先頭に "._" が付いているファイルは、音楽データでないため再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

USB メモリーを再生する

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズが 600kB を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	ビット数	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48～192 kbps	–	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32～320 kbps	–	.mp3
WAV	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	–	16/24 ビット	.wav
MPEG-4 AAC*2	32/44.1/48kHz	16～320 kbps	–	.aac/ .m4a/ .mp4
FLAC	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	–	16/24 ビット	.flac
ALAC *3	32/44.1/48/ 88.2/96kHz	–	16/24 ビット	.m4a
AIFF	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	–	16/24 ビット	.aif/ .aiff
DSD (2 チャンネル)	2.8MHz	–	1 ビット	.dsf/ .dff

＊1　MTP に対応した一部のポータブルプレーヤーでは、著作権保護のあるファイルを再生できます。
＊2　著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
＊3　Copyright [2012] [D&M Holdings. Inc.] Apache License Version 2.0(「本ライセンス」)に基づいてライセンスされます。このファイルを使用するためには、本ライセンスに従わなければなりません。本ライセンスのコピーは下記の URL から入手できます。
http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

本機で表示できるフォルダやファイルの制限数は次のとおりです。

メディア / 項目	USB メモリー
メモリーの容量	FAT16 : 2GB、FAT32 : 2TB
フォルダの階層数 *1	8 階層
フォルダ数	500
ファイル数 *2	5000

＊1　制限数にはルートフォルダを含みます。
＊2　USB メモリーの容量やファイルサイズにより、許容ファイル数が変わる場合があります。

インターネットラジオ局の再生について

■ 再生できる放送局の仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA	32/44.1/48kHz	48～192 kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32～320 kbps	.mp3
MPEG-4 AAC	32/44.1/48kHz	16～ 320kbps	.aac/ .m4a/ .mp4

Bluetooth機器の再生について

本機は、次の Bluetooth プロファイルに対応しています。

- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）：
  この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、モノラルやステレオの音声データを高品質にストリーミング配信することができます。
- AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）：
  この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、本機から Bluetooth 機器を操作することができます。

Bluetooth 通信について

本機からの電波放送は、医療機器の操作を妨げることがあります。電波干渉は故障の原因となるため、次の場所では本機と Bluetooth 機器の電源を必ず切ってください。

- 病院、電車、航空機、ガソリンスタンドや可燃性ガスを発生する場所。
- 自動ドアや火災報知機の近く。

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズが 600kB を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。
- ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバーまたはサーバーソフトウェアが必要です。

- 特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、ご使用の無線 LAN の環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線 LAN 接続をおこなってください。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	ビット数	拡張子
WMA	32/44.1/48kHz	48～192kbps	-	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32～320kbps	-	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	-	16/24ビット	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	16～320kbps	-	.aac/.m4a/.mp4
FLAC	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	-	16/24ビット	.flac
ALAC*2	32/44.1/48/88.2/96kHz	-	16/24ビット	.m4a
AIFF	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	-	16/24ビット	.aif/.aiff
DSD (2 チャンネル)	2.8MHz	-	1 ビット	.dsf/.dff

＊1　著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

＊2　Copyright [2012] [D&M Holdings. Inc.] Apache License Version 2.0（「本ライセンス」）に基づいてライセンスされます。このファイルを使用するためには、本ライセンスに従わなければなりません。本ライセンスのコピーは下記の URL から入手できます。
http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

ディスクについて

■ 本機で使用できるディスク

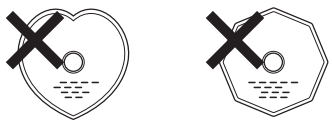
❶ 音楽用 CD

本機で使用できる CD は、右のマークが付いているものです。

❷ CD-R/CD-RW

ご注意

- ハート型や八角形など特殊形状の CD は再生できません。故障の原因になりますので、使用しないでください。
- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。



■ ディスクの入れかた

- レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイドに合わせ、8cm ディスクは内周トレイガイドに合わせて、水平に置いてください。
- 8cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて置いてください。

- 再生できないディスクを入れた場合には、“非対応です”を表示します。
- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“Disc がありません”を表示します。

ご注意

- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

■ ディスクを入れる際のご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどのノリがはみ出したり、はがした跡にノリが残っているディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

■ 取り扱いについてのご注意

- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷を付けないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴が付くことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

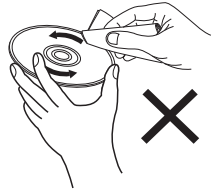
■ 保存についてのご注意

- ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気・ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

■ ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
- 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたはやわらかい布などを使用してください。

内周から外周方向へ軽くふく。



円周に沿ってはふかない。

ご注意

- レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。
再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。

用語の解説

■ 音声

ALAC（Apple Lossless Audio Codec）

アップル社が開発した音声データ可逆圧縮方式のコーデックです。iTunes や iPhone、iPod で再生できます。約 60～70%に圧縮されたデータを完全に元どおりのデータに再現します。

AIFF（Audio Interchange File Format）

非圧縮ロスレス方式のデジタル音声ファイルフォーマットです。AIFF ファイルは、読み込んだ曲から高音質オーディオ CD を作成する場合に使用します。AIFF ファイルは、1 分あたり約 10MB のディスク領域を使用します。

DSD（Direct-Stream Digital）

音声データ記録方式の 1 つで、スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、Δ-Σ 変調されたデジタルオーディオです。2.8MHz のサンプリングレートの単一ビット値の配列で構成されています。

FLAC

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。
FLAC のライセンスについては、次のとおりです。

Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006,2007, 2008, 2009 Josh Coalson
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MP3 (MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD 並の音質を保ったままデータ量を約 1/11 に圧縮できます。

MPEG(Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

WMA (Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。
WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)することができます。WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで Ω（オーム）という単位で表します。この値が小さいほど大きな電力が得られます。

ビットレート（Bit rate）

記録された映像/音声データを 1 秒あたりに何ビットのデータに処理したかを表します。この数値が大きいほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。

■ ネットワーク

AirPlay

iTunes または iPhone、iPod touch、iPad に収録されているコンテンツをネットワーク経由で対応する機器に転送（再生）する機能です。

DLNA

DLNA および DLNA CERTIFIED は、Digital Living Network Alliance（デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス）の商標/ サービスマークです。コンテンツには DLNA CERTIFIED® 製品と適合しないものがある可能性があります。

vTuner

インターネットラジオの無料オンラインコンテンツサービスです。
本サービスに関するお問い合わせは、下記 vTuner のサイトまでお願い致します。
vTuner ホームページ:
http://www.radiomarantz.com
本製品は、Nothing Else Matters Software and BridgeCo の知的財産権により保護されています。当該技術の本製品以外での使用または配布は、Nothing Else MattersSoftwareandBridgeCo の許諾がない限り禁止されています。

WEP Key(ネットワークキー)

データ通信をおこなう際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。本機はデータの暗号化/復号化ともに同一の WEP キー(ネットワークキー)を用いるため、通信する相手と同一の WEP キーを設定する必要があります。

Wi-Fi®

無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-FiAlliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。

WPA (Wi-Fi Protected Access)

Wi-Fi アライアンスが策定したセキュリティ規格です。従来の SSID(ネットワーク名)や WEP キー(ネットワークキー)に加えて、ユーザ認証機能や暗号化プロトコルを採用して、セキュリティを強化しています。

WPA2 (Wi-Fi Protected Access 2)

Wi-Fi アライアンスが策定した WPA の新バージョンです。WPA と比べ、より強力な AES 暗号に対応しています。

WPA-PSK/WPA2-PSK(Pre-shared Key)

あらかじめ設定した文字列が無線 LAN アクセスポイントとクライアントで一致した場合、相互認証をおこなう簡易認証の方式です。

WPS (Wi-Fi Protected Setup)

無線 LAN 機器の接続とセキュリティ設定を簡単に実行するために Wi-Fi アライアンスが策定した規格です。

ネットワーク名(SSID:Security Set Identifier)

無線 LAN のネットワークを構成するとき、混信やデータの盗難などを防ぐために、グループ分けをします。このグループ分けを「SSID(ネットワーク名)」でおこないます。さらにセキュリティ強化のために、WEP キーを設定し、「SSID」と WEP キーが一致しないと通信できないようになっています。簡易ネットワークを構成する場合に適しています。

■ その他

ファイナライズ

録音された CD-R/CD-RW を再生対応機で再生できるように処理することです。

ペアリング

ペアリング（登録）とは、Bluetooth 機器と本機を接続するために必要な操作です。ペアリングすると互いの機器が認証し合うので、混線することなく接続できます。
はじめて Bluetooth 機器を接続する場合は、最初に本機と本機に接続する Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。

登録商標について

Made for iPod iPhone

AirPlay

“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone, may affect wireless performance. AirPlay, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano および iPod touch は、著作権のないコンテンツまた は法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に 複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

N マークは NFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Bluetooth

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG、Inc.が所有する登録商標であり、D&M Holdings Inc.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。

Wi Fi CERTIFIED

Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。

Adobe、Adobe ロゴ、および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

主な仕様

■ オーディオ部

- **CD プレーヤー部**

再生周波数特性:	10Hz～20kHz
ワウ・フラッター:	測定限界(±0.001% W.peak)以下
サンプリング周波数:	44.1kHz

- **オーディオ部**

定格出力:	2 チャンネル 50W + 50W(6Ω、1kHz T.H.D 0.7%)
実用最大出力:	60W + 60W(6Ω、1kHz T.H.D 10%、JEITA)
出力端子:	スピーカー:負荷 4～16Ω ヘッドホン/ステレオヘッドホン適合
入力感度/入力インピーダンス:	Analog In:200mV/22kΩ
全高調波歪率(1kHz、5W、6Ω):	Analog In:0.1%
S/N 比(10W、6Ω、IHF-A):	Analog In : 90dB
トーンコントロール:	Dynamic Bass Boost : +8dB(100Hz) 低音:±10dB(100Hz) 高音:±10dB(10kHz)
周波数特性:	Analog In:5Hz～40kHz(±3dB)

■ チューナー部

	[FM]	[AM]
受信周波数帯域:	76.0MHz～95.0MHz	522kHz～1629kHz
実用感度:	1.2μV/75Ω	20μV
FM ステレオ分離度:	42dB(1kHz)	
FM S/N 比:	モノラル:70dB ステレオ:70dB	
FM 全高調波歪率(1kHz):	モノラル:0.4% ステレオ:0.4%	

■ 無線 LAN 部

ネットワーク種類（無線 LAN 規格）:	IEEE 802.11b 準拠 IEEE 802.11g 準拠 IEEE 802.11n 準拠 （Wi-Fi®準拠）*1
セキュリティ:	WEP 64bit, WEP 128bit WPA/WPA2-PSK（AES） WPA/WPA2-PSK（TKIP）
無線周波数:	2.4GHz
チャンネル数:	1 ～ 13 チャンネル

*1　Wi-Fi®準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「WiFi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。

■ Bluetooth 部

通信システム:	Bluetooth バージョン 2.1+EDR (Enhanced Data Rate)
送信出力	最大 2.5mW(Class2)
最大通信範囲:	見通し距離 約 10m*2
周波数帯域:	2.4GHz 帯域
変調方式:	FHSS (Frequency-Hopping Spread Spectrum)
対応プロファイル:	A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)1.2
	AVRCP(Audio Video Remote Control Profile)1.4
対応コーデック:	SBC, AAC
伝送範囲(A2DP):	20Hz～20,000Hz

*2　実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。

■ 時計/アラーム/スリープ

時計方式:	電源周波数同期方式(月差±60 秒以内)
アラーム:	ワンスアラーム/エブリデイアラーム:各 1 系統
スリープ:	スリープタイマー:最大 90 分

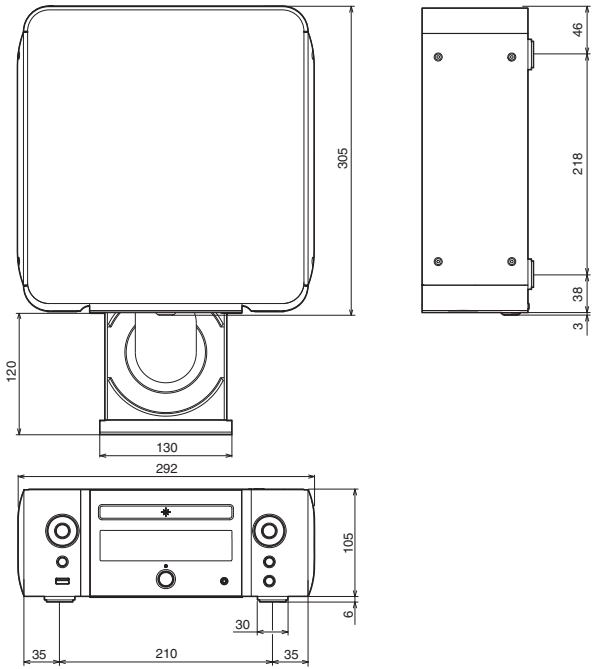
■ 総合

電源:	AC100V 50/60Hz
消費電力:	55W
スタンバイ時の消費電力:	0.3W
“時計モード”ー“オン”時の消費電力:	1W
“ネットワーク制御”ー“オン”時の消費電力:	3W

- JEITA:(社)電子情報技術産業協会(略称:JEITA)が制定した規格です。
- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法

単位：mm



■ 質量：3.4kg

索引

☞ A

AirPlay 67

☞ B

Bluetooth 機器 60

☞ C

CD 38

☞ D

DLNA 134

☞ N

NAS 46, 129

☞ R

Remote play 機能 70

☞ U

USB メモリー 27, 58

☞ あ

アップデート 96
アラーム 91

☞ い

インターネットラジオ 42

☞ う

ウェブコントロール機能 73

☞ お

お買い上げ時の設定に戻す 98
お気に入り 52
音量 37, 84

☞ す

スリープタイマー 81

☞ て

ディスプレイの明るさ 82
データ CD 40

☞ ね

ネットワークの設定 99

☞ は

パソコン 46, 129

☞ ふ

フロントパネル 11

☞ み

ミューティング 37

☞ め
メニュー一覧 85

☞ も
文字入力 89

☞ ら
ランダム再生 48, 59

☞ り
リアパネル 14
リピート再生 48, 59
リモコン 16

当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

☎ 0570（666）112
FAX：044（544）3171

■ 受付時間　9：30～17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

■ 上記番号がご利用いただけない場合　☎ 03（3570）5138
〒210-8569　神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1　D&M ビル

■ メールでお問い合わせをいただくこともできます。
http://marantz.jp/jp/html/contact.html

＊ 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

☎ 0570（666）811

■ 受付時間　9：30～12：00 、13：00～17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

■ 上記番号がご利用いただけない場合　☎ 0466（86）9522

■ 故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
http://marantz.jp/jp/html/service.html

■ 修理品お持ち込み窓口
・首都圏サービスセンター
〒252-0816　神奈川県藤沢市遠藤 2010-16
FAX：0466（86）9522

＊ ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

marantz®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス
〒210-8569
神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1　D&M ビル

Printed in China　5411 11301 00AM
Copyright ©2015 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.